

資料

開催趣意書	53
協定書	55
実行委員会運営要綱	58
実行委員会委員名簿	59
参加依頼書	61
チラシ	67
第1回話し合いの結果	69
第2回話し合いの結果	75
第3回話し合いの結果	81
第4回話し合いの結果	87
新聞記事等	93
参加依頼書に同封したアンケート結果	115
参加者アンケート(旗あげアンケート)結果	125
参加者アンケート(手あげアンケート)結果	127
参加者アンケート(記入式)結果	128
参加依頼書郵送後の応答データ・人数割合データ	137
三鷹市の市民参加と協働のあゆみ	141

みたかまちづくりディスカッション 2006
開 催 趣 意 書

三鷹青年会議所と三鷹市は、新たな市民参加の手法の検証を行うことを目的に「みたかまちづくりディスカッション 2006」を協働で開催いたします。

「みたかまちづくりディスカッション 2006」は、ドイツの市民参加の手法を参考に三鷹青年会議所が実施提案を三鷹市に呼びかけをして、平成 18 年 8 月 26 日（土）・27 日（日）の 2 日間、開催するものです。

三鷹市はこれまで、コミュニティ行政の展開を図るとともに、「みたか市民プラン 21 会議」等の様々な市民参加の手法により、市民の皆様の声を市政に反映してまいりました。

半世紀近くに渡る市民参加の歴史は、市民の皆様との共有財産であるとともに自治体経営の強みとなっております。この「みたかまちづくりディスカッション 2006」は市民参加と協働を積極的に推進してゆく次なる一歩と考えております。

「みたかまちづくりディスカッション 2006」の特徴は次の 4 点です。

- ① 年齢構成比を反映した無作為抽出という方法により、これまで行政に声を届けるきっかけを持たなかった市民の参加を促します。
- ② 討議テーマについては専門家から情報提供を受けることができるため、専門知識を有しない方でも安心して参加できます。
- ③ プログラムの進行に従い各自の意見を出し合うことで、市民の知恵や良識を行政に反映することができます。
- ④ ディスカッションの手法や内容、及び成果について検証・評価を行い、報告書としてまとめ、公開します。

今回は「安全安心のまちづくり～子どもの安全安心～」をテーマにしてディスカッションを行います。ここでは賛否をとって結論付けすることはしませんが、市民の皆様が抱える課題や関心を明確化し、提案については市の施策などに反映させ、三鷹をよりよいまちにすることを目指します。

三鷹青年会議所と三鷹市が協働で開催することにより、「市民参加と協働のまちづくり」の実践がまたひとつ始まろうとしています。市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 18 年 5 月 18 日

三鷹青年会議所
三 鷹 市

「みたかまちづくりディスカッション2006」の実施に関する協定書

三鷹青年会議所と三鷹市（以下「市」といいます。）は、無作為抽出による市民がまちの課題を討議する「みたかまちづくりディスカッション2006」（以下「ディスカッション」といいます。）をともに実施し、その手法の効果を検証・評価するため、次のとおり協定を締結します。

1 協定の目的

本協定は、ディスカッションの実施及びその手法の効果の検証・評価に関し、三鷹青年会議所と市との間の関係や役割分担、相互協力の内容などを定めるものです。

2 協働に関する原則

三鷹青年会議所と市とは、協働の精神に基づいて、お互いに次の原則を遵守します。

- (1) お互いが対等なパートナーの関係を保つように心がけます。
- (2) お互いの立場を理解・尊重し、自由に意見を交換できる関係を作ります。
- (3) お互いの活動を理解し、その主体性・自主性を尊重します。
- (4) 個人情報の保護に配慮しながら、協働の過程や結果などの情報を公開し、市民の皆さんの理解を得るように努めます。
- (5) 多様な市民の意見を集め、中立性・公平性を担保します。
- (6) 成果の手法についてともに検証・評価します。
- (7) ディスカッションの成果について公開します。

3 役割と責務

(1) 三鷹青年会議所の役割と責務

ア 実行委員会の設置及び運営に関すること。

三鷹青年会議所は、ディスカッションを円滑に実施するため、「みたかまちづくりディスカッション2006 実行委員会」（以下「実行委員会」といいます。）を設置し、運営にあたります。

イ 広報活動等に関すること。

三鷹青年会議所は、ディスカッションを広く周知するため、広報活動を行います。

ウ 報告書の作成に関すること。

三鷹青年会議所は、ディスカッションの内容及びその手法等について報告書にまとめ、市長へ提出します。

エ 個人情報の保護に関すること。

三鷹青年会議所は、ディスカッションを実施する上で、知り得た情報のうち、プライバシーに関するものなどについては、三鷹市個人情報保護条例に基づいて個人情報の保護を行います。

オ 経費の負担に関すること。

三鷹青年会議所は、別に定めるところによりディスカッションに係る経費の一部を負担します。

(2) 市の役割と責務

ア 実行委員会への参加に関すること。

市は、実行委員会に委員として職員を参加させます。

イ 広報活動等に関すること。

市は、ディスカッションを広く周知するため、市報等を活用します。また、ポスター等を作成します。

ウ 参加市民のリストの抽出に関すること。

住民基本台帳から参加市民の無作為抽出の作業をします。

エ 情報提供に関すること。

市は、三鷹青年会議所に対し、ディスカッションの実施に必要な情報の収集、提供及び公開をします。

オ 場所の提供に関すること

会議室、事務局について優先的に確保します。

カ 関係団体との調整に関すること。

テーマに関する関係市民団体などとの必要な調整をします。

キ 経費の負担に関すること。

市は、別に定める経費を予算の範囲内で負担します。

ク 報告書の検討に関すること。

市は、3(1)ウの報告書に記載された内容について真摯に検討し、市政に活かすよう努めます。

4 実行委員会の所掌

(1) 実行委員会は、ディスカッションの実施及びその手法の効果等の検証・評価をします。

(2) 実行委員会は、ディスカッションの実施状況を市民に公開します。

(3) 実行委員会の運営については、別に定めるものとします。

5 協定の有効期限

本協定は、三鷹青年会議所と市との合意をもって発効し、平成19年2月28日を有効期限とします。

6 その他

本協定に定めのない事項で、ディスカッションを実施する上で必要と認められるものについては、三鷹青年会議所と市とが協議して定めるものとします。

平成 18 年 5 月 18 日

三鷹市下連雀三丁目 37 番 15 号
三鷹青年会議所
理事長

植野貴子

東京都三鷹市野崎一丁目 1 番 1 号
三鷹市
三鷹市長

清原慶子

みたかまちづくりディスカッション 2006 実行委員会運営要綱

(設置)

第1条 みたかまちづくりディスカッション 2006 (以下「ディスカッション」という。)を円滑に実施するため、みたかまちづくりディスカッション 2006 実行委員会 (以下「実行委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 実行委員会は、次に掲げる所掌事務を掌る。

- (1) ディスカッションの実施に関すること。
- (2) ディスカッションの成果及びその手法の効果の検証・評価に関すること。
- (3) ディスカッションの実施状況を市民に公開すること。

(構成)

第3条 実行委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 市民協働センター企画運営委員会委員
- (2) 三鷹青年会議所会員
- (3) 三鷹市職員
- (4) 前3号に掲げるもののほか、実行委員会が特に必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、平成19年2月28日までとする。

(役員)

第5条 実行委員会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 委員長
- (2) 副委員長 4人

(委員長)

第6条 委員長は、実行委員会を総理し、副委員長は、委員長を補佐する。

2 委員長不在のときは、副委員長がその任務を代理する。

(会議)

第7条 実行委員会の会議は、定例的に開催する

- 2 実行委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。
- 3 実行委員会の会議は、第2条に規定する事項について協議及び検討する。
- 4 実行委員会の会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(運営委員会)

第8条 実行委員会は、ディスカッションの運営を行うため、運営委員会を設置することができる。

(事務局)

第9条 実行委員会に事務局を設置する。

- 2 事務局に事務局長及び事務局次長を置く。

附 則

この要綱は、平成18年5月18日から施行する。

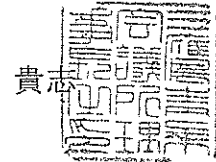
みたかまちづくりディスカッション 2006 実行委員会委員名簿

- ◇委員長 吉田純夫 (三鷹青年会議所)
(1名)
- ◇副委員長 高橋和継 (三鷹青年会議所)
(4名) 河瀬謙一 (三鷹 SOHO 倶楽部)
高橋由紀子 (市民協働センター企画運営委員)
正満たつる子 (市民協働センター企画運営委員)
- ◇委員 埴村貴志 (三鷹青年会議所)
(17名) 宍戸隆介 (三鷹青年会議所)
島田栄造 (三鷹青年会議所)
村井亨 (三鷹青年会議所)
小林秀紀 (三鷹青年会議所)
鈴木知康 (三鷹青年会議所)
中山恭延 (三鷹青年会議所)
橋本亨 (三鷹青年会議所)
稲沢明仁 (三鷹青年会議所)
平林亮 (三鷹青年会議所)
宮川齊 (市民協働センター企画運営委員)
本山幸彦 (市民協働センター企画運営委員)
斉藤憲仁 (三鷹 SOHO 倶楽部)
清水富美夫 (三鷹市)
伊藤幸寛 (三鷹市)
宮崎治 (三鷹市)
伊藤千恵子 (三鷹市)
- ◇事務局 高橋由紀子 (事務局長)
(3名) 平林亮 (事務局次長)
伊藤千恵子

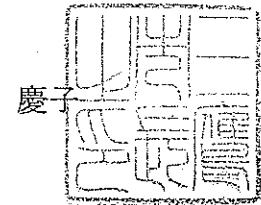
※ 三鷹市市民協働センター内に事務局設置

様

三鷹青年会議所
理事長 埴村 貴志



三鷹市
三鷹市長 清原 慶子



「みたかまちづくりディスカッション 2006」参加依頼書

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、三鷹青年会議所と三鷹市が協働で、新たな市民参加の手法の検証を行うことを目的に「みたかまちづくりディスカッション 2006」を下記のとおり 2 日間にわたり開催することになりました。

18 歳以上の市民の中から 1,000 人の方を、無作為抽出という方法を使って選出させていただき、この「みたかまちづくりディスカッション 2006」の参加依頼書をお送りさせていただきました。

どうぞ、趣旨をご理解のうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日時

- (1) 第 1 日目 平成 18 年 8 月 26 日 (土) 午後 1 時～4 時 30 分
 - (2) 第 2 日目 平成 18 年 8 月 27 日 (日) 午前 10 時～午後 7 時
- ※ 8 月 27 日 (日) は、昼食をご用意させていただきます。

2 場所

三鷹市市民協働センター
三鷹市下連雀 4 丁目 17 番 23 号

3 テーマ

「安全安心のまちづくり～子どもの安全安心～」

4 テーマ設定理由

- (1) 犯罪の機会をつくらないまちづくりを推進するため。
- (2) 子どもを取り巻く社会的環境が変化し、様々な取り組みが行われておりますが、課題解決のために、多くの市民の参加が必要となったため。

5 謝礼等

(1) 謝礼

6,000 円（所得税引後 5,429 円）

〔口座振り込みによりお支払いさせていただきます。〕

(2) 参加記念品

ジブリ美術館の招待券 2 枚

〔ご本人様と同行者の方との 2 人で、お好きな日時（休館日を除く）にご利用になれます。〕

6 参加定員数

45 人

7 承諾書等のご返送

(1) 承諾書（参加の場合）

お手数ですが、別紙承諾書にご記入のうえ、ファックスまたは返信用封筒により平成 18 年 6 月 30 日（金）までにお送りくださいますよう、お願い申し上げます。

(2) アンケート（不参加の場合）

ご都合により参加されない場合にも、大変恐縮ではございますが、同封のアンケート用紙にご記入のうえ、ファックスまたは返信用封筒により、平成 18 年 6 月 30 日（金）までにお送りくださいますよう、お願い申し上げます。

8 抽選について

(1) 抽選

参加を承諾された方が 45 人以上となった場合は、申し訳ありませんが、抽選させていただきます。

公開抽選日＝平成 18 年 7 月 5 日（水）午後 2 時

場 所＝三鷹市市民協働センター 第 2 ミーティングルーム

(2) 抽選結果のご連絡

抽選結果につきましては、承諾された全員の方へ 7 月 12 日（水）までにご連絡させていただきます。

(3) 抽選のない場合

抽選しない場合も、承諾された方へ速やかにご連絡させていただきます。

9 手話通訳・託児サービス

(1) 手話通訳・車いすの介助者等の配置

参加を承諾してくださる方で、手話通訳・車いすの介助者などの配置が必要な方は、事前にご連絡ください。

(2) 託児サービス

参加を承諾してくださる方で、保育をご希望の方は、事前にご連絡ください。

対象：1歳から未就学児まで

10 参加できる方

ご本人様のみ参加できることとさせていただきます。

11 その他

三鷹市市民協働センター内に「みたかまちづくりディスカッション2006」の事務局を設置しております。ご質問、お問い合わせ、ご相談などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先 三鷹市市民協働センター 内

みたかまちづくりディスカッション2006事務局 高橋・平林・伊藤
〒181-0013 三鷹市下連雀4丁目17番23号

電話番号：0422 (46) 0048

FAX 番号：0422 (46) 0148

メールアドレス：kyoudou@collabo-mitaka.jp

実行委員会ホームページ：http://181.blog37.fc2.com/

協働センターホームページ：http://www.collabo-mitaka.jp

FAX または郵送にて6月30日(金)
までにお送りください。

みたかまちづくりディスカッション2006 事務局宛
ファックス送信先：0422(46)0148

承 諾 書

平成18年6月 日

私は、「みたかまちづくりディスカッション2006」の目的および趣旨を理解し、平成18年8月26日(土)・27日(日)(2日間)参加することを承諾します。

お名前 _____

ご住所 三鷹市 _____

電話番号 () _____

※ ご本人様が直接ご記入くださいますようお願いいたします。

- ☆ 託児サービスを希望しますか ① はい ② いいえ
⇒お子さんの年齢 () 歳 お名前 ()
- ☆ 手話通訳等の配置が必要ですか? ① はい ② いいえ
⇒手話通訳 車いすの介助者 その他 ()

三鷹市個人情報保護条例第10条第1項および第2項に基づき、承諾書に記載された内容については、「みたかまちづくりディスカッション2006」の実施目的以外には使用いたしません。

ありがとうございました。

FAXまたは郵送にて6月30日（金）
までにお送りください。

みたかまちづくりディスカッション2006 事務局宛
ファックス送信先：0422（46）0148

ご都合により、参加されない方へ

「みたかまちづくりディスカッション2006」

アンケート

大変お手数をお掛けして申し訳ありませんが、
今後の参考にさせていただきたく、アンケートにご協力ください。

※ 該当する項目に○をつけてください。（いくつでも）

1 「みたかまちづくりディスカッション2006」の参加依頼書を見たとき、どのように
お感じになりましたか？

- ① 面白そうだった。
 ② 不安に思った。
 ③ あまり関心がないと思った。
 ④ その他

2 スケジュール【8月26日（土）・27日（日）】について

- ① 2日間は長時間に感じる、1日のみだったら参加したいと思う。
 ② 土・日は、都合が合わない。
 ③ 今回は都合が合わない。
 ④ その他

3 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたら、どうしますか？

- ① 日程が合えば、参加する。
 ② テーマに興味があれば、参加する。
 ③ できれば、参加したくない。
 ④ その他

ご協力ありがとうございました。



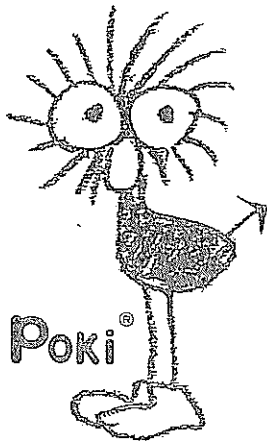
親展

転送不要

『みたかまちづくりディスカッション 2006』
のご案内が入っています。


このディスカッションは、三鷹市青年会議所と
三鷹市が主催して開催します。

※詳細については、封筒の中の資料や6月18日号の市報
「広報みたか」をご参照ください。



©2001 スタジオジブリ

1年 6 月 15 日



三鷹市市民協働センター

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4丁目17番23号
電話番号 0422-46-0048
FAX番号 0422-46-0148

送付用封筒

※ 公共機関である三鷹市が主催している旨や郵送日から3日後の市報に記事を掲載するなど、不審な郵便物と間違われて捨てられないように気を付けている。

⑧ 26~27
三鷹市市民協働センター

あなたの声をまちづくりに!



お願いの手紙が届いたら、
是非、ご参加ください。

みたかまちづくりディスカッション2006への参加は、主催者が無作為抽出により18歳以上の市民1,000人に郵送で呼びかけています。

みたかまちづくりディスカッション2006 安全安心のまちづくり ～子どもの安全安心～

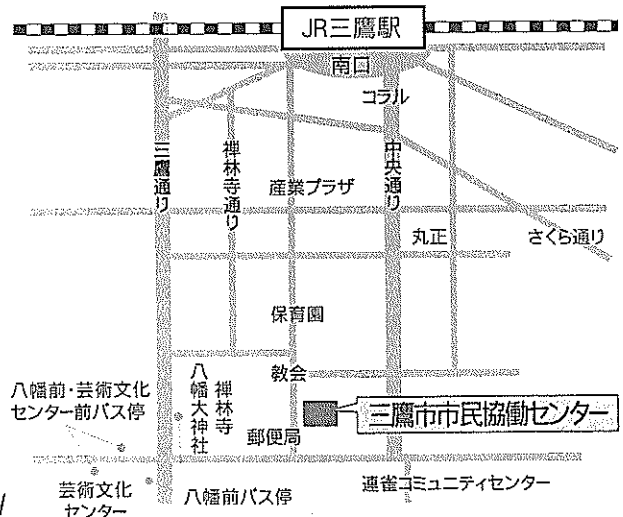
三鷹市の市民参加・協働の形は、行政が枠組みを決めて市民から意見を聞き取る形式から、市民と行政がともに進める協働型へと移り変わってきています。これまでの市民参加の歴史を踏まえたうえで、参加のきっかけのなかった人にも働きかけをし、市民の声をまちづくりの参考にすることを目的に「みたかまちづくりディスカッション2006」を開催いたします。

第1日目 2006年 8月26日(土)
午後1時～午後4時30分

第2日目 2006年 8月27日(日)
午前10時～午後7時

場所 三鷹市市民協働センター
三鷹市下連雀4-17-23
tel: 0422-46-0048
JR三鷹駅徒歩約15分、八幡前バス停徒歩約3分

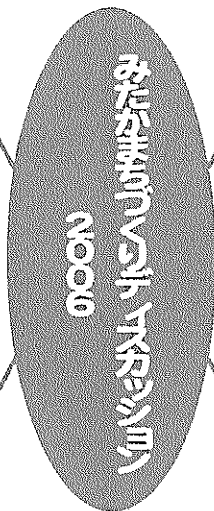
実行委員会 ● <http://181.blog37.fc2.com/>
三鷹市市民協働センター ● <http://www.collabo-mitaka.jp/>



「みたかまちづくりディスカッション2006」は、討議の前に専門家から情報提供を受けることができるので、子どもの安全安心の専門知識がなくても安心して参加できます。

概要

1. 無作為抽出という方法により、これまで行政に声を届けるきっかけを持たなかった市民の参加を促します。
2. 討議は、事前に専門家から情報提供を受けることができるため、どなたでも安心して参加できます。
3. プログラムの進行に従い各自の意見を出し合うことで、市民の知恵や良識を行政に反映することができます。
4. ディスカッションの手法や内容及び成果について検証・評価を行い、報告書としてまとめ、公開します。



方法

1. 第1日目は、自己紹介や討議方法の説明、テーマの情報提供等を行います。
2. 第2日目は、具体的なテーマに基づいて実際に討議を行います。
 - (ア) 5人ひと組のグループに分かれます。
 - (イ) 専門家からの情報提供後、グループ毎に討議を行います。
 - (ウ) 途中、休憩時間があります。
 - (エ) 休憩後、5人ひと組のメンバーを交替して、違うテーマの討議を行います。

みたかまちづくりディスカッション 2006 の流れ

1 無作為抽出という方法で選出した 18 歳以上の市民 1,000 人に「参加依頼書」を送付いたします。

2 参加依頼書が届きましたら、事務局まで承諾書をご返送ください。

3 「みたかまちづくりディスカッション 2006」の参加者を 45 名決定いたします。参加ご希望の方が多数いた場合、抽選にて決定いたします。

4 参加者決定後、ご参加いただく方々に、「みたかまちづくりディスカッション 2006」当日のスケジュールなどをお送りいたします。

5 **みたかまちづくりディスカッション 2006**
 第1日目:2006年8月26日(土)／午後1時～午後4時30分
 第2日目:2006年8月27日(日)／午前10時～午後7時

6 「みたかまちづくりディスカッション 2006」の市民参加の手法や内容、及び成果について検証・評価を行い、報告書を作成します。報告書は、三鷹市に提出されるとともに、インターネットやメディアを通じて、広く公開されます。

7 三鷹市は、提出された「報告書」を真摯に受けとめ、施策などに反映していきます。

第1回 話し合い

子どもにとって危険や不安を感じるのは、
どこで、どんなときだと思いますか？

グループ名		
1 第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子ども110番のステッカーあるのに、留守っばい。	まとめ上段
2	玉川上水(井の頭、牟礼)、夜間入通り少なくて不安。	
3	塾が終わるのが遅い時間。帰宅するまで不安。	
4	長い長い歩道がある。そこを通るのがこわい。	
5	歩道が狭い。車が近くを通る。	
6	歩道の自転車走行が歩行者を考慮していない。	
7	他の自治体と比べて街路灯が少ない。	
8	暗い夜道で人通りの少ないところを一人で移動中とき危険を感じる。	
9	友達と別れた時こわくなる。	
10	交差点等横断が心配。	
11	保護者が交通の危険箇所を手をつないでない。	
12	大学生、高校生の通学の自転車がこわい。	
13	自転車の集団(本人が乗っている時、友人と一緒にだと速度があがる)	
14	自転車の夜間、灯火不点灯。	
15	先日、子供が二人階段を遊びながらかけ落ちて来てそのまま1人が突き当たりのガラスに激突し、大けがした。透明のガラスはキケン。	まとめ中段
16	私の勤先で先日、子供がエスカレーターのベルトがつかまり、そのまま上に行ってそのまま落ちた。親が目を見送った後。	
17	お母さん達がスーパーなどで立ち話をしている、子ども達から目が離れていて子どもがインターネットを独りでみている時	
18	たかさんの人がいても知らない人ばかりの場合	まとめ下段
19	帰宅時、からまれた時に誰も(大人が)助けてくれず、先輩が助けてくれた。	
20	まだ三歳に移って間もない頃、子供と二人で外に出て知らない人に話しかけられたりした時。	
21	友人と三鷹市から外へ遊びに行く時(原宿など)。	
22	子供あてに、友人とか知人のふりをして電話をかけてくる。目的は、子どもが小さい頃はクラスメートの電話番号(親が電話に出ることを考えて、子どもが最初電話口に出るが途中で親(大人)に変わる)大学生くらいになるとデート商法か？	
23	安心メール。その後どうなったかが気になる。ひと言あってもいいのではないか？	
24	安心メール。事件があってから流れてくるのが遅い。	
まとめ(3つ以内)	交通環境からくる不安 ・交差点・自転車など・明るさ	投票欄 9
	親と子ども ・親の注意が不足	投票欄 12
	震然とした不安 ・インターネット・外出・子どもが独りの時	投票欄 11
残したい意見	安心メールのその後～情報が遅いしこない！	
	学校からの情報のその後～情報が遅いしこない！	

グループ名		
2 第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	下校時、保護管理者の手が離れた生徒宅までの一人になる瞬間。	まとめ上段
2	夕方の下校時	
3	夕方の下校時、一人となる機会	
4	住人の不在が多い場所	
5	人通りのないところ	
6	子どもが危険を感じていないことが危険	
7	暗がりでの一人歩き	
8	小学生の塾通い者も多い。当然夜間になる。親も慣れで子供の自己管理にする瞬間。	
9	子どもたちが下校後公園や友だち宅で遊んでいたあととの時間。	
10	助けを求めると、場所がない。	
11	歩道が無く、交通量の多い道路。	
12	細い裏道を平気で自転車、自動車をスピードをゆるめず行動する大人の行「責」の短い信号(横断歩道)	
13	一方通行のような狭い道で後ろから車が来た時	
14	車の往来が激しい所	
15	見通しの悪い場所	
16	対人関係の希薄なところ(遊所つきあい)	
17	大人に話しかけられた時、近よってきた時	
18	仲の悪いグループ(一人か二人でも)が行く先にかたまって見えた時	
19	大人より先に子どもが悪くなることはない。大人の教育マナー、ルールの場	
20	二車中のシート	
21	地震や雷(雨)の際通学路にブロック壁があると大きな逃げ込める建物がない。	
22		
まとめ(3つ以内)	下校時に人通りの少ない所で一人になる瞬間	投票欄 9
	狭い道路、見通しの悪い道路	投票欄 11
	対人関係の希薄なところ	投票欄 13
残したい意見	自然災害	

グループ名		
3 第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	壁が高い(死角)	まとめ上段
2	死角	
3	歩道がせまい道路	
4	無関心	まとめ中段
5	第3者の目の存在	
6	知らない人が多い	
7	情報の共有化(人)	
8	場所特有の危険性(地域性)一人のある所、人のいない所	
9	人の多さ少なさが危険をまねく。	まとめ下段
10	子供と親、教師との関係のきまけ化	
11	人の顔が見えない、人間関係のちほく	
12	不当に人が殺ってくるか？	
13	自分で身をまもれるか、ないか？	
14	町のつくりの中で子どもから子どもが、人が見えなくなる時。	
まとめ(3つ以内)	建物・町のつくりの中で、子どもから人が見えなくなる時	投票欄 11
	不特定多数の人に囲まれた時	投票欄 8
	親・知り合いから離れ、一人になった時	投票欄 9
残したい意見	子ども、親、教師、近所との関係のキハク化	

グループ名		
4 第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	広場、公園、児童遊園を子どもが安心してあそべる場所に	まとめ上段
2	公園のみまわり	
3	下校時の安全	
4	歩道がせまい	
5	狭い通学路を通行する自転車	
6	通行人のいない道路を夕方から夜ひたひたまで歩いている時に見知らぬ男が近づいてきた時	まとめ中段
7	自転車の無灯火、自転車信号無視	
8	自転車運転のルール、マナーの徹底	
9	歩きタバコを止めさせる。	
10	光化学スモッグが心配	
11	幼、小、中がバス通りなどに面していて、排気ガスが心配	
まとめ(3つ以内)	公園や下校時に子どもだけになる時	投票欄 8
	狭い道を通る時	投票欄 4
	マナーの悪い自転車が通る時	投票欄 10
残したい意見	歩きタバコを止めさせる。	
	光化学スモッグが心配。	

グループ名	第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？	
5		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	面白い道路、通行時(注意を他にとられて、みちくまして)	まとめ上段
2	歩道をすこい速度で走る自転車を見た時	
3	車の交通が激しい所、道路の狭い	
4	狭い道路、通行時	
5	学校からの帰り道、最終的に一人になった時	まとめ中段
6	(下校時)人通りの少ない道や暗い道を歩いて帰る時、特に一人になると不安だと思う。	
7	暗い場所、照明・カメラの設置？	
8	夕方時(暗くなった時)の一人歩き	
9	友人と遊んで帰り遅くなりはじめたころ。	まとめ下段
10	バーチャルなゲームをしている時、加害者になりうる可能性がある。(怖さかわからない)	
11	どこまで犯罪性があるのか、友人同士の遊びなのかわからない場合(たづねるかやハサミを貸す子供に任せすぎる場合)	
12	ナイフやハサミを貸す子供に任せすぎる場合	
13	大人と青年のまねをする時、	その他
14	危険への対応の仕方を知らないので実際危険な目にあった時不安に思うのでは。	
15	親との接し方が少ない。	
16	家に誰もいなくて自分で玄関のカギを開ける時。	
まとめ(3つ以内)	車や自転車に対する危険が多い道路を通行する時	投票欄 11
	人通りの少ない道や暗い道を一人で歩いている時	投票欄 6
	現実とバーチャルの区別がつかない時	投票欄 13
残したい意見	家に誰もいなくて自分で玄関のカギを開ける時。	

グループ名	第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？		
6			
作業スペース			
番号	付箋内容	グループ分け	
1	何かあった時、誰に助けを求めればいいのかわからない。	まとめ上段	
2	ひとひとの交流ができない。		
3	近所の人にあいさつできない。		
4	知らない人に声をかけられた時の、対応の方法がわからない(たとえ注意を受けたとしても)		
5	ひとのかおみてもあいさつができない。	まとめ中段	
6	マンション廊下で知らない人に会う時		
7	子供だけで遊んでいる時		
8	通学路途中、知らない人に会う時		
9	登下校の時、通学路で	まとめ下段	
10	危険度マップが壁に入っていない。		
11	何か危険を感じた時、どうしたらいいかわからない。		
12	近所に住んでいる人が、どうゆう人が判らない。		
13	近所の方の顔と名前が一致しない。	その他	
14	他人の子供には感心のない親。		
15	なかなか信号が変わらない横断歩道で信号無視をする人がいる。一子供がまねするのではないのか？		
16	通学路、歩道を自転車スピードを出して走る。		
17	外で他人と会った時、週刊に人が見当たらぬ。	投票欄 17	
18	夕方以降、人通りのへる暗い道路。		
19	街灯が少ない、夜くらくら。		
20	夕方公園が明るくない。		
21	一人でパソコンしてインターネットをしている時	投票欄 7	
22	一人でいる時の電話		
まとめ(3つ以内)	子供の暮らす周囲において人と人のつながりが希薄である(親も子も)		投票欄 11
	周囲の情報が十分に与えられていない		
	通学路や公園等の環境の安全が十分でない		
残したい意見	一人でインターネットを利用している時。		
	家で一人である時。		

グループ名	第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？		
7			
作業スペース			
番号	付箋内容	グループ分け	
1	登校、下校時友人と話しながら道いっばいにひらがって歩いている所	まとめ上段	
2	メイン道路から裏道への一人歩き、特に夕方から夜にかけて		
3	放課後、塾や習い事などの帰り道、暗い路地など		
4	人気がない道路(登下校時等)、公園での不安感、他人との出会い。		
5	友人と別れ一人になって家に帰る時	まとめ中段	
6	(スクールゾーン夜間含む)登下校中の道路、自動車、自転車の通行制限が必要		
7	自転車の運転時、まわりを見ないで走っている所		
8	交通量の少ない所の信号無視		
9	無灯火の自転車	まとめ下段	
10	スクールゾーンを無視して走る車		
11	自転車通学の場合、自転車専用ゾーンもなく身の危険を感じる(車中心の道づくりになっている)		
12	危険等に列して知識がなすぎ		
13	通学路で見知らぬ人に後をつけられた時	投票欄 9	
14	危険を感じた時でも、日中人気のない家ばかりだと助けを求めることができず、不安。		
まとめ(3つ以内)	人気がない場所、暗い場所(道路、公園など)の1人歩き		投票欄 19
	交通ルールを守らない自動車・自転車。		
残したい意見	危険を感じても助けを求める人がいない(日中、不在の家が多い)		

グループ名	第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？		
8			
作業スペース			
番号	付箋内容	グループ分け	
1	◎自転車道路の整備を充実してほしい○実現可能かどうかは考えないでうれしく思いました。	まとめ上段	
2	自転車、無灯火		
3	交通事故		
4	交差点		
5	公園(暗がり、林の中)	まとめ中段	
6	昼間の人通りの少ない所		
7	人目のつかない死角		
8	(学校の)プールの設備、監視は大丈夫？		
9	夕方以降など、の帰宅時は二人に成らない様に努力が必要と思う	まとめ下段	
10	単独行動		
11	一人歩き		
12	通学(特に)帰りに二人になってしまいう機会		
13	誘拐	その他	
14	通り魔		
15	友人間での苛め		
16	今日あった事を必ず親に話す		
17	行き先を告げずに(友人の家などへ)遊びに行ってしまう	投票欄 9	
まとめ(3つ以内)	交通事故		投票欄 5
	危険な場所		
	単独行動(一人歩き)		
残したい意見	友人間での苛め	投票欄 10	

グループ名	第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？	
9		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	歩道のない道路	まとめ上段
2	踏切、信号の経験のない子が渡る時。	
3	指定通学路の認識がないこと。(各家庭で)子供が一人になりやすい。	
4	塾など、夜の行き帰り	まとめ中段
5	夜道、蒸暑り、不審者あふない	
6	〇戸外で見知らず人に声をかけられた時	
7	校内への侵入者(大人)	
8	登下校不審者	
9	朝、同じ時間、同じ道で通学中	
10	公園、遊び場で子ども選だけで遊んでいる時。(不審者とのトラブル)	まとめ下段
11	繁華街でのトラブル	
12	子供は深夜、外出しない。	
13	よからぬ誘われ	その他
14	夕刻、コンビニでたむろっている中高生	
15	匿名があつまること	
16	親自身を再教育	
17	携帯電話やネットによるトラブル	
18	友達とのトラブル	
19	検挙率の低下	
まとめ(3つ以内)	通学に適さない危険な道	投票欄 10
	不審者 通学路、校内、公園、夜間	投票欄 9
	中高生の夜間外出	投票欄 10
残したい意見	大人の再教育	
	携帯電話やネットによるトラブル	
	検挙率の低下	

グループ名	第1回：子どもにとって危険や不安を感じるのは、どこで、どんな時だと思いますか？	
10		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	夕方時の下校	まとめ上段
2	下校後、帰宅まで、どこまで来ているか不安。	
3	公園の整備の不備(暗い、人通りがない)	まとめ中段
4	歩道のせまさ	
5	自転車(ケータイ使用しながら運転、猛スピード)	
6	不倫や離婚があたりまえのようになっている。	まとめ下段
7	大人の都合で子供を育てている、利用している	
8	コミュニケーション。信らいてきるかどうか	
9	大人に対する、不安(親など)	
10	子供の居場所	
まとめ(3つ以内)	下校時や夕方の帰宅時に一人で居る時	
	暗い人通りのない公園で遊んでいる時や狭い歩道を通っている時	投票欄 6
	周りの大人達が信頼できるか迷う時	投票欄 22
残したい意見		

第2回 話し合い

地域安全マップの作り方・使い方の
アイデアを出してください。

グループ名		
① 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	危険箇所の徹底チェック。大人、子どもそれぞれの目録で、人が作ったものと(与えられたもの)自分自身で作った(経験した)ものどでは効果(実際の)ががらうと思うので、まずは各家庭→小地域→中地域、子どもの活動エリアのマップを作る(学校区では入らない?)	まとめ上段
2	子供会をかくにマップ作りサークルをつかってみるは?	
3	まず個々の家庭から歩いてみて家族の中で話し合ってみる。	
4	子供として出来る仕事は参加する事に意義あり	
5	適当なブロックに分け、ブロック毎、毎月1回等、親交会を持つ。近所づきおいを増やす。	
6	マップの全戸配布	
7	容認して良い場所なのか否かの判断	
8	犯罪、危険箇所を作っているのは、大人が主である。マナーよりルール、命令強化で抑止をはかりたい。	まとめ中段
9	マップを作った後、いまだにその効果、活用の成果、情報の吸い上げがないのは残念。	
10	子供ひなんじょ等の所在を親、子供に通知徹底する	
11	マップの使い方を家庭で話しあう。	
12	子供として道交法を学んでもらいたい。	
13	子供の親の無責任(例、花火やゴミの不始末)	
14	ニューヨークのジュリアーニ元市長の「破れ窓理論」のように、重点施策で原因となるものをつぶしてゆく。	
15	緑の公園(自然の公園)は絶対必要。でも犯罪の温床になるのは困ります。そのためには地域の協力を多くする事を。もちろんそこを利用する人のすべてが責任をもって行えるような方法	
16	年数が経つと状況も変わる。従って危険な所が変わる可能性もある。	
17	子と親の視点で作るマップなので毎年作り直す。(作る過程も重要である)	
18	安全マップを作っても、いつ改正されるかの不安定期	まとめ下段
19	素晴らしいマップだが、「作ったら終わり」ではない。変化、結果の成果を求めたい。	
20	性犯罪の弱強化。公表する。	その他
21	性犯罪前科ある人々の監視を強める。	
22	近くに居る子供の存在の情報を知らせる。	
23	親子それぞれの視点で、実際に歩き、家庭で話し合い、さらに地域の活動グループ(子ども会など)も活用し、学区だけではなく子どものエリアのものを作る。	
まとめ(3つ以内)	全戸配布し、全ての住民に知らせ、でき上がったマップの危険ヶ所の改善と継続(使い方の工夫)	投票欄 10
	作る過程も重要、又変化するので毎年更新する。	投票欄 9
		投票欄 4
残したい意見	できる限り子ども情報もマップに入れる。	

グループ名		
② 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子供だけ(その家族)だけでなく、市民が意識してあげた方が、より地域が安全になるので、マップ作成の際、布をあげて1日、道交止めとして全員で歩いてみて、(エリアを決め)みんなで作るイベント的なことしたいので、小学生の子供だけでなく、卒業した中・高・大・社会人にも危険箇所はないか意見をきく。	まとめ上段
2	家庭によって危機意識が異なるので、学校内外で意識向上をはかるための工夫。主に親が全員参加して作る。	
3	9月初旬の防災訓練(地域ごと)の際に安全マップを作る。地域の人にも参加してもらえるので。	
4	子供と大人に危険マップを作るために親に対して、ある程度危険を認知できるように危険箇所を聞いてほしい。	
5	小・中学生巻き込んで作成	
6	小グループ単位で「マップを作る」と子供をおだてて、こっそり入っていく(抜け道や、車マップでは書けない私的な事(危ない家→不法にゴミを出す、車身社アパート、こわい人→子供嫌いな子供の方が悪くて叱ってくれる)を親として知	
7	子供とマップを作る事で子供の生活圏を知る事ができ、又、共通の話題もできるのでは	
8	子供の目録で作る。しながんで見て見ることも必要。	まとめ中段
9	地域の地図がでている(大きな)みたくに安全マップも公的に目につくものをつくる。	
10	配布場所を増やす。一般の方も手しやす(コミセン、駅、交番など)	
11	インターネットの活用(PDFも必要) 三鷹市ホームページで、PDF等を使用して、いつでも見れる様に。使ってもらえるPR方法。学校行事での配布説明等	
12	小学校の校区だけでなく、(三鷹、武蔵境、調布)駅付近の行政区以外の安全マップを作って置くに置く。	
13	危険ポイントをカンコン等で表示する。	
14	危険ヶ所の標識をつくる。(マップで危険ヶ所が分かっているんだしたら、それを利用して標識をつくる。)誰でも分りやすい	
15	安全マップを子どもひなんじょ、子ども110番の表示と一しょに貼付ける。	
16	環境は変化するので見直しも必要	
17	もらった地図に、意見や発見を書ける様をもうけて、新しい地図をもらうときに提出する。	
18	マップ作成の為に歩く時、清掃活動しながら地域の人にあいさつや安全マップ作ります!としようかいながらコミュニケーションをとって歩く。(地域の人に意識させる)	その他
19	行動が広がる為、周辺も含めたマップ作り(駅や移動拠点が他にならなくなってしま	
20	児童館など、学区外でも子どもが利用できる施設(まての道)をマップに入れ	
21	交通事故が実際に起こった箇所も印をつける。	
22	学校は警察署からの最近の犯罪情報をもとって、保護者、生徒に注意を促す。	
まとめ(3つ以内)	子ども(その家族)だけでなく幅広い年齢層を巻きこんで作る。	投票欄 8
	安全マップを、人の集まる場所に表示する。(インターネット、駅など)	投票欄 7
	危険ヶ所に標識をつける。	投票欄 13
残したい意見	交通事故等が実際に起こったヶ所も表記する。	

グループ名		
③ 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	マップを持って子どもといっしょに歩いて実地調査、話し合いを行う。	まとめ上段
2	子どもと危険について話し合う機会を創りたい。	
3	配布されたマップはメインの道路です。自分の家からこの道路に出る迄の我が家マップが必要でないか?	
4	実際に歩いて自分に合ったものにしていって、時間帯、地、畑かく	
5	安全な道路、安全安心できる場所を事前決めておく。	
6	子どもひなんじょなどの安全な場所を徹底しておく。	
7	実際に発生した事例の追加記載	
8	いつも携帯できるように小さいマップにする。	まとめ中段
9	ドライバーの視点を取り入れる。タクシーの運転手などにアンケートをとる。	
10	年齢別にマップをつくり直す。	
11	年令別に拡大してもよいのではないか。	
12	時間帯別に事前に確認、マップに反映させる。	
13	一般にも配布したら? ゴミのカレンダーと一緒に。	まとめ下段
14	市報等にはさき、一般配布して下さい。参考になります。	
15	「子供110番の家」をもっとたくさんふやしてほしい。	その他
まとめ(3つ以内)	子供といっしょに歩き、確認しながら、我が家マップをつくる。	投票欄 7
	特に危険な場所の記載(年齢別・時間別・携帯用)に範囲を決めたマップにする。	投票欄 5
	市民全員に配布する。 ※大人の意識を高める。	投票欄 6
残したい意見	「子どもひなんじょ」をもっとたくさんふやして欲しい。	

グループ名		
④ 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	地域の要所要所に詳細に掲示する。	まとめ上段
2	使い方、市民がインターネットを通して地図(マップ)を見れるようにする。	
3	児童館がない家庭にも配布する。	まとめ中段
4	地域全体の人を巻きこんで地図作り	
5	住居年数が若い人の情報をすいあげる。	
6	警察官と一緒に歩いて作る。	
7	子供、ホコ者の限定情報では意味がない。	
8	マップ作りで退職者を活用	
9	縦書きで体系的に作るのではなく、1年から6年生みんなの地図を作成(子供会などの活用)	
10	小・中学生を集めた子供会(あるのか?)と地域住民との会話の中でマップを作る。	
11	地図を大きくして地域を狭くする(実験済み)	
12	ぬり絵式地図	
13	マップの言葉をつかりやすく	
14	もっと狭い範囲の詳しいマップをつくる	
15	情報をこまかく地域を話しあう	
16	情報を人目に触れるようにキャンペーンをする。駅・スーパーなどで1ヶ月くらい。	
17	リタイヤした人を活用して、じゅんかんさせて、地図を更新していく。	その他
18	マップの見直し作業(メンテナンス)のやり方、しぐみを作る。事故・犯罪マップを活用	
19	安全訓練(警察・学校・ホコ者・子供・地域を巻きこんで)をしているのか、できるのか。	
まとめ(3つ以内)	児童館がない家庭への配布(白黒版でよい)。地域への掲示、インターネット等で、情報を広く知らせる(キャンペーン等)	投票欄 15
	地域全体(保護者、子供、警察官、住民)で、マップを作り、情報を更新していく	投票欄 7
	狭い範囲を詳しく、大きく、言葉を使ってマップを作る(ぬり絵地図)	投票欄 15
残したい意見	マップに基づいて地域で安全訓練を行う。	

グループ名		
5 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子供達が自ら考え、作り、使い方を考える。	まとめ上段
2	自分でも歩いて危険な場所を知る。	
3	子供の危険意識を高める為に、学校の授業の一環として、子供に地図を作成させる。	
4	子ども用に白地図も配り、自分で記入できるようにする。	
5	子供と一緒に作る。	
6	更新を定期的に。(インターネットや携帯を使う。)	まとめ中段
7	安全マップの見直し。一定期間毎に作り直し。	
8	IT技術を利用し、地図をPCに取り込み、各家庭に配信できるようにする。日々、住環境の変化に対応でき、最新の情報を提供できる。	
9	保護者だけではなく一般の住民の方に協力を得て子供の安全を守る事が必要	
10	子どもひなんじよを実際にたずねてコミュニケーションを図る。あいさつする仲になっておく。	
11	子供のいる家庭だけでなく、その地域全世帯に知らしめる。	まとめ下段
12	犬の散歩をする人に、わざと危険な道を通ってもらう。(下校時間)	
13	ゴミカレンダーのように毎年新しいものを配る。広報につけて全家庭へ。	
14	どこの家庭からも子供達を見守っている。	
15	庭のある人に、下校時や夕方にカーデニングをしがら、外に出してもらう。	
16	自動車、バイク、及び自転車などは皆んな正しい運転しているとは限らない。	その他
17	警察から情報を得て、過去に事故が起ったり、不信者がいた場所を明記する。	
18	〇町会を活用する。〇地域に合わせたやり方を考える。	
まとめ(3つ以内)	子どもの危険意識を高めるために、地域単位で、子どもと一緒に作成する。	投票欄 3
	安全マップの見直しを常にして、最新情報をインターネットや掲示板で知らせる。	投票欄 17
	安全マップを全家庭に配り、住民一人一人に意識を持ってもらう。	投票欄 11
残したい意見	外に立っているだけでも、犯罪を未然に防げる。	

グループ名		
6 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子供だけではなく、年配者、若い女性などにも配布できるようにしたい。	まとめ上段
2	老人のためにも役立つマップ。ひったくり防止など	
3	地域の人と一緒に歩こう	
4	町会に呼びかける。	
5	隣近所の人たちとよく話しをするようにする。	
6	子どもの目から見てわかるように	まとめ中段
7	だれでもわかりやすいように	
8	市民全体に配布できたらいい。	
9	ただ配るだけではなく、もう少し工夫する。	
10	ネット公開	
11	ただ学校で配布するだけでなく、しっかり営業で伝達する。保護者、地域の方	まとめ下段
12	親と子だけではなく、町内会、自治会など協力体を大きく広げる。	
13	コミセンまつりを利用して立体的な地図を置いてもらう。	
14	(企業)よく親子で買い物をする店などを活用する。	
15	事例をしっかりと報告する。小さいことが多発しているというのを聞く。→自覚	
16	家族で地域安全マップをつくってみる。親(父・母)、子ども	投票欄
17	昼だけでなく夜も親子で歩いてみる。夜と昼は様子が違う。	
18	絵本のように興味をひく地図	
19	地図の活用し、道路チェックをする。	
20	空室をそのままにするのではなく、防犯のために工夫が必要なのは。中・高生の安全をもっと真剣に考える。小学生にも通じる。	
まとめ(3つ以内)	地域の人と一緒に歩こう！ (町内会・老人会・子ども会など)	投票欄 13
	市民全員に配布、呼びかけ！ (ネット公開含む、コミセンまつり)	投票欄 9
	小さいことが多発しているが事例を報告して欲しい！	投票欄 9
残したい意見	老人のために役立つマップ	
	若い女性の安全マップ	

グループ名		
7 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	作り方 地域の組織(商店・町内会等)に声を掛けて作成する。企業	まとめ上段
2	地区班での作成。町内会での作成。取りこぼしを無くす。	
3	使い方として父母会などで必ず自を通す様配布する。	
4	地域安全マップを子供と一緒に作る。	
5	家の内外に貼る。	
6	親への呼びかけ。一保護者会などでマップの必要性を説明	まとめ中段
7	学校主体の地域イベント	
8	親へ対する意識づけ。危機感を持たせる。	
9	掲示板の利用。	
10	交通安全教室で子供たちに説明。マップの見直し。	
11	総合学習への出前授業	まとめ下段
12	年に1回もしくは2回、マップの見直し	
13	私立に通う子供の参加	
14	地域住民の一人々が安全マップ作りに参加出来る様、工夫する。	
15	子供の目線に注意する。一かくれ家など親の知らない所※親に知られたくない所	
まとめ(3つ以内)	小・中学校だけではなく、地域の組織(商店・町内会・企業・高校・大学等)に声をかけ作成。	投票欄 16
	掲示板や保護者会などを利用し、親への意識(危機感)を高める。	投票欄 6
	交通安全教室・総合学習への出前授業でマップ作成・見直しをはかる。	投票欄 9
残したい意見	子供だけが知っている秘密のかくれ家などを把握しておく。	

グループ名		
8 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	家族単位で作成するのは難しいので、子供会等で行う。	まとめ上段
2	作成されたものを就学児童がない家庭にも配布する。	
3	(寮)であることを前提にした、安全マップを作る。	
4	子供が放課後に通っている学習塾周辺の安全マップを作る。	
5	名家庭、小さな子ども会ではマップ作りは困難(現実的には)学校での取り組みが必要。その場合に子どもが主体的に関わっていくように。	
6	少年野球やサッカーチームなど団体がマップを作成。	まとめ中段
7	危険箇所だけでなく、安全な道路等も載せた方がいいのでは？	
8	子供自身に1週間の生活の記録を付けさせ、その行動パターンに合ったマップを作る。	
9	コンビニやスーパーなどでお店に安全マップを貼出す。	
10	行政機関・コミュニティセンターに拡大したマップを掲示する。	
11	ゴミ収集日のカレンダーのように、各家庭に配布。(どんな世帯でも理解して頂く)	まとめ下段
12	市のホームページにUPLしたり、インターネットを活用してマップの更新や周知徹底を図る。(ママな更新を)	
13	危険箇所の改善を市等へ対応する。(危険箇所を減らす)	投票欄
まとめ(3つ以内)	子供自身に、1週間の生活の記録を付けさせ、その行動パターンに合った安全マップを作る。	投票欄 18
	人の多く集まる場所に、拡大した安全マップを掲示する。	投票欄 7
	子供のいない家庭にも、安全マップを配布する。	投票欄 6
残したい意見	危険箇所の改善を、行政で対応する。	
	市のホームページで、マップの更新や周知徹底を図る。	

グループ名		
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">9</div> <div> 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。 </div> </div>		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	できあがった地図の持ち帰り！一さしひききして子供にあった	まとめ上段
2	情報の共有・更新をする。	
3	家庭→学校→地域へ拡大→システム化？	
4	情報の共有化出来る	
5	「map」名称変更。できあがったきれいな形になりすぎている。	まとめ中段
6	高齢者と子供の安全マップづくり	
7	大人用・子供用をつくる。	
8	町名の安全マップ	
9	子どもひなんじよ 人とあう！顔を合わすこと！！	まとめ下段
10	子ども110番のお宅訪問ごあいさつ	
11	コミュニティ活動への情報提供。町会、習い事単位で実施	
12	いろんな地域の方の参加をうながし、情報をつめる。	
13	大人へのマップ→周知徹底（機会を増やす、町内会等）	その他
14	学童入所前の行事としては？	
15	多くの市民に気づいてもらえるよう目につく機会をふやす。	
16	保護者が子供につきそい説明	
17	普段の生活上において（徒歩で確認）	
まとめ（3つ以内）	情報の共有化→拡大 家単位のMAP→学校・地域→行政→市民へ	投票欄 9
	個々のニーズに合ったみせ方 名称（ひとり歩き～・高齢者・中学生etc）、 ズームイン・アップ（範囲を自由に変更して出す） ※いろいろな人のアンテナにひっかける。	投票欄 7
	顔が見えるようなMAP・工夫 MAP上だけではなく「直で会う」「学校行事」等を使って顔が見えるようにする。	投票欄 10
残したい意見	注意を促す看板や貼り紙等、周知できる工夫をする！！	

グループ名		
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">10</div> <div> 第2回：地域安全マップの作り方・使い方のアイデアを出してください。 </div> </div>		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	時差による子供とチェック	まとめ上段
2	防犯訓練に便してほしい。子供に体験させてほしい。	
3	「子どもひなんじよ」に実際に入る訓練をしないと飛び込めない？	
4	防犯カメラの設置場所	まとめ中段
5	災害避難場所の表記 ◎	
6	作り方は良いと思う	
7	マップの見直しについて	
8	作成年月日(最新版)の表示、改訂の有無を入れる。◎	
9	「子どもひなんじよ」「子ども110番」の役割(意味)が判りにくい。	まとめ下段
10	通学区以外の行動範囲も書き足せるように。	
11	他地区のマップの入手方法	
12	新入居者に配布	
13	「安全マップ」をどこで、どうしたら(誰でも)入手できるのかを周知	
14	パトロールの時間？	その他
15	マップ作りなどの効果(具体的には、子供の被害が減ったなど)がわからない	
まとめ（3つ以内）	マップを使った防犯訓練を実施し、子供に身を守る体験をさせる。	投票欄 23
	マップに「災害避難場所」、「改訂年月日」を追加表記する。	投票欄 7
	「安全マップ」(他地区、転入者)をどこで入手できるのかを周知する。	投票欄 10
残したい意見	マップ作りの効果(犯罪被害の減少、増加)が判らない。	

第3回 話し合い

地域の子どもを見る目をふやすための
アイデアを出してください。

グループ名		
1 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	見られる側へのPRも必要	まとめ上段
2	各年齢層の意識啓発(子ども)	
3	子供通学時にあいさつさせる。人にあった時は、あいさつさせる。	
4	子供の集いに大人も参加してコミュニケーションを計り、子供との親しみを子ども自身の目も楽しみとなる。	
5	自分ができる時の歩行でパトロールする(住民が)	まとめ中段
6	パトロール仲間(2人以上で歩く)	
7	散歩しながらでも見える対応。(時間、場所の制限をしない)	
8	人の目による 住民が外にいる	
9	全戸に帽子やワッペン、胸章など配布し、外出の時はつけてもらう。	まとめ下段
10	パトロールと分る帽子、ワッペン等を寄せる。帽子等を住民に配る。	
11	子ども以外の協力意識が必要になる。	
12	子どもだけでたらず子供を守る！	
13	登下校の通学路など意識的に目を光らせる。	投票欄
14	ヒマな人は時間の隙に道路・公園等を見ている。	
15	子供を見る目を増やすためのPR	
16	すべての大人が子どもを見守る意識を育てる。無関心でない。	
17	地域の大人達の協力見て見守る。	投票欄
18	自宅の窓、庭から道路を見ている。	
19	子供の意識改革 子供も小さい子供を見守る。 人に出会ったらあいさつをする。	
20	各家庭に帽子胸章を配り、市民に自由にパトロールをしてもらう。	
まとめ(3つ以内)	住民が家(窓・庭等)から、道路・公園を見守る。	投票欄
	親も意識改革が必要(関心を持つ)	投票欄
		投票欄
残したい意見		投票欄
		投票欄
		投票欄

グループ名			
2 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。			
作業スペース			
番号	付箋内容	グループ分け	
1	地域の人の子どもへ関心もてるように、地域の人と子どもと接点をつくる。	まとめ上段	
2	地域のコミュニティを利用して、集り、遊、等子屋みたいなものを作る。		
3	地域の住民が、その地域の子供達の顔、名前を把握する。(イベント、会合、学校を通して)		
4	地域子供会をつくる。(指導員二遊びの一の育成)		
5	地域イベントの開催	まとめ中段	
6	遊び(コマ返し、ケン玉...)大卒開催による他の親子とのふれ合いを増加		
7	地域の住民と児童のコミュニケーションの機会をつくる。場所(学校等)コミュニティC)の提供		
8	ボランティアによる下校後の指導(遊び相手)		
9	2年後輩者の増加に伴い、積極的に協力してもらう。	まとめ下段	
10	監視カメラの徹底的利用		
11	1年に20台ずつ市内にカメラを設置		
12	統一した胸章・ステッカー		
13	学校・役所・警察の連携	その他	
14	買物の時間を子供の帰宅時間にあわせる。		
まとめ(3つ以内)	地域の住民と児童のコミュニケーションの機会をつくる。 (地域のイベント・寺子屋・遊びの大会など)		投票欄 22
	団塊の世代を積極的に協力してもらう。		投票欄 10
	監視カメラの設置(公園、広場、畑の多い地域など)	投票欄 4	
残したい意見	統一した胸章、ステッカーを使う	投票欄	
	子どもの生態について、情報提供が必要	投票欄	
		投票欄	

グループ名		
3 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	警告するカンパンの設置	まとめ上段
2	犯罪者が近よれない町並、町づくり	
3	防犯機械の設置	
4	防犯カメラの設置	
5	防犯パトロールカーを町会ごとに配備して、好きな時にパトロール	まとめ中段
6	(犬の散歩時に)市民の人によるパトロール	
7	企業によびかける。(会社員)地元の人ではない人。	
8	企業と市民の交流の場をつくる。	
9	お祭りやイベントの時にふれあう。参加	まとめ下段
10	人が動く時に防犯グッズを身に着ける。	
11	散歩時に防犯グッズをかぶる。	
12	ワッペンをカラフルにして、防犯中を自立させる。	
13	自転車、自動車に防犯パトロール中ワッペンをつけてもらう。	その他
14	ワッペン、胸章の選択をふやす。	
15	けいご色のグッズ	
16	警察のパトロール 間隔を短くする。	
17	警察の個人宅の訪問	投票欄
18	防災無線による防犯のお知らせ	
19	あいさつ運動(駅・交差点・教育現場など)	
まとめ(3つ以内)	防犯カメラ・警告カンパン等の設置により犯罪者を近づけない。	
	市民・企業・官庁との相互連携によるパトロール	投票欄 11
	手軽で自立つ(帽子・ワッペン・タスキ等)防犯グッズを配布し、日常生活時に身につける。	投票欄 11
残したい意見	警察のパトロール間隔を短くする。個人宅訪問。	投票欄
	防災無線による防犯のお知らせ。	投票欄
	あいさつ運動(教育現場、駅、交差点等)	投票欄

グループ名		
4 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	ファミレスやコンビニから、青少年の様子を報告してもらう。(警察に言う前)	まとめ上段
2	警察以外の通報する所をつくる。(ワンクッションおいた連絡先)	
3	町会やボランティア等のパトロールを通して、常に子供に接する機会をも	
4	学校、商店の人が子供を見守ってほしい。	
5	町内会の催し物を通して、子供達の家庭環境、家族関係等を知る。	まとめ中段
6	周囲の住んでいる人達を知る。	
7	あいさつ(基本!) 地域の方々とも親しくならぬと見守ってなんでもらえな	
8	地域の人々がつどう活動づくりを通じて、お互いの理解を深め、あいさつ	
9	ができる関係をきずく。	まとめ下段
10	商店の人々の目	
11	危険情報をインターネットのけいご板を使い書きこめるようにする。	
12	市のホームページに、地域別の「掲示板」を設け、各地域の市民から、直	
13	接情報をもろう。	その他
14	HPの書き込み等でタイムリーな情報を流し、地域の人に注意を呼びかけ	
15	ごみ出しの時間	
16	学校の協力による教職員朝の巡回	
まとめ(3つ以内)	青少年の不審な行動を、彼らが立ち寄りそうなお店(コンビニやファミレス)の人に報告してもらえるような、通報場所を設ける。	投票欄 12
	地域の人々が集う活動づくりを通じて、お互いの理解を深め、あいさつができる関係をきずく。	投票欄 6
	市のホームページに、地域別の「掲示板」を設け、各地域の市民から、直接情報をもろう。	投票欄 10
残したい意見	学校の協力による、教職員の朝の巡回。	投票欄
	玄関先にポスターではなく旗などの立体的なものを目印として置く。	投票欄
		投票欄

グループ名 5 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	公園にボランティアの人に来てもらう。入りやすい、遊びやすい。	まとめ上段
2	「パトロールしている人」と子供が判るようにする。	
3	親の間でも良く練習し、劣ばしくない親に指導する。	まとめ中段
4	地域と学校との関係 地域の人材を生かせる配りよ	
5	どの子供の為にも善悪を教育する。	
6	子どもが元気なとき、声をかけてあげる	
7	家庭内の挨拶を徹底する事から始める。	
8	子供をしかる折は、理由をつけて説明し、うるさく言わない。	
9	子供同士が見る意識を持てるように、教える。	まとめ下段
10	地域しん頭、商店街の活性化を図る。	
11	地域とのつながり	
12	イベント等で、近所の子供と顔見知りになる。	
13	家の前の道をもう少し広げて、人が外に出やすい環境をつくる。	その他
まとめ(3つ以内)	今ある公園を入りやすく遊びやすいように、ボランティアの人に居てもらおう。	投票欄 15
	大人から子供、子供同士で積極的に声をかけあう。	投票欄 6
	地域イベントを通して、近所の子供と顔見知りになる。	投票欄 16
残したい意見	家の前の道をもう少し広げて、人が外に出やすい環境をつくる。	

グループ名 6 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	リタイアした人達を活用するために、行政でキッカケを作る。	まとめ上段
2	大人と子供の掛け合いを促せる。	
3	まず、活動キャンペーンを行う。	まとめ中段
4	子供達にきかれ様が、接していこう。関心をもとう。	
5	シニアが、地域の人が一歩ふみだす機会をつくる。	
6	あいさつをする。	
7	「声をかける機会」キャンペーン等の支援がほしい。	
8	行事を利用する。コミセン祭り、体操、夜まわり、散歩、祭り、子供会、学校行事への参加	
9	自分の健康の為にも戶外でウォーキング	まとめ下段
10	コミュニティ(えんがわ、プラットフォームづくり) シニアの役立ち感を生む	
11	子供達が安心できる(大人達の)PR努力	
まとめ(3つ以内)	シニアの参加を増やす。 →地域コミュニティにトクこむ“きっかけ”をつくる!	投票欄 12
	大人が子供を見守ると意識をもとう!	投票欄 7
	家の外に出て声をかけたり見守ったりしよう!!	投票欄 0
残したい意見	この人は安心できる人だというPRをする。(丸池おじさん、もの知りおじさん・etc.)	

グループ名 7 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	土曜日や総合学習で地元住民と一緒にできる事(スポーツや異文化交流BBQ等)をやってみる。	まとめ上段
2	あいさつ運動(学校で呼びかけ)	
3	学校と住民の連携を図るべく話し合いの場を設けて学校とのつながりを密に	
4	地域別の集会を行い、安全ニュース、近所の親交を深める。	
5	子供が近隣のどこに居るか、何人居るか等を知らせ合い、子供にも会う機会を作る。	
6	小学生のいない家庭だと近所の子供の顔がわからない。(近所との会話を増やすにはどうすればよいかな?)	まとめ中段
7	学校で子供と会う機会(懇親会、給食を一緒に食べる)をつくる。	
8	子供に「顔」を見せてもらう(子供会行事に参加)	
9	清掃活動をしながらパトロールする。	
10	近所の公園でパトロールも兼ねて大人と遊ぶ?-(大人と一緒に行動)	
11	安全パトロール隊への多数参加	
12	子供が信用出来る人とわかるマーク(胸章とか)を付けた人が路上に居る。	まとめ下段
13	(危険な場所へ)「監視カメラ」(ダミーでも)を設置する。	
14	危険な場所への監視カメラ設置	
15	安全マップに子供状態を書き入れる。	
16	「地域の危険な場所」(はどこか?)を地域の人が認識する。	その他
17	遠くまで見えるように、道を明るく、障害物をなくす。	
18	子供の顔だけでなく、地域の人で、交差点、横断歩道などで通学時に、あいさつ、声かけを行なう。(交通安全運動以外も)	
19	防災無線とかで下校を知らせる。(下校中は音楽を流すとか)	
20	一人で歩いている子供を見かけたら、気にかけるようにする。	
21	子供が通る時間帯に家や玄関など清掃してもらおうようにする。	
22	通学途中などに公園などを気にするようにする。	
まとめ(3つ以内)	地元の地域の子供達との知り合う機会を作る。(顔見知りになる)	投票欄 13
	地域による自主パトロールの推進。(多くの人が参加できるように体制づくり)	投票欄 8
	防犯カメラ等を設置し、危険箇所の減少を図る。	投票欄 3
残したい意見	日常生活の中で子供の行動に注意を払う。	

グループ名 8 第3回：地域の子どもを見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子供の意見を聞く機会を作る	まとめ上段
2	公(的)身分証と人にもわかるような腕章等を希望者につけて貰い、お互いに声をかけやすくする(買ものや散歩時)	まとめ中段
3	自主的にパトロールが可能な方の応募	
4	一人一人が登下校の子供達に声を掛ける	
5	小学生や中学生にでもできる場面では気軽に声かけ(あいさつ)を	
6	個人的にでも良い意味でのお節介を心がける。(まわりも理解を示して協力を。買物などの通行路で、気になるものを見たとときetc)	
7	ビジュアル的に警鐘をつながす様な催し	
8	コミセンなどで地域の方と子どもとの交流をはかる。(知り合いを増やす)	まとめ下段
9	地域でバベキュー会とかでコミュニティをはかる。	
10	地域の子供を地域で守ってあげる。	
11	個人個人が気持ちの中に気(ばり、目くばりを持つ。	
12	自分の地域をボランティアで回る。自由な時間、自由な曜日	投票欄
まとめ(3つ以内)	子供の意見をきく機会を作る。	投票欄 9
	子供に声をかけよう。(大人も子どもお互いに声をかけやすいように腕章つける)	投票欄 6
	子供と大人の交流をしよう。	投票欄 5
残したい意見	近隣地域との協力と話し合い。	
	ビジュアル的に警鐘を促がす様な催しを。	

グループ名	第3回：地域の子どもの見る目をふやすためのアイデアを出してください。		
9			
作業スペース			
番号	付箋内容	グループ分け	
1	責任のない見守り	まとめ上段	
2	お店の人(コンビニ等)に清掃とかごみすての時でもいいから、外の状況を見てもらう。		
3	ひまな人を見つける。		
4	専門職の方(警官)に活躍していただく。(いざという時危険)		
5	なるべく買物は近所で家族を知ってもらう。そうすると何かの時に気をかけてもらえる。		
6	人目のある場所を提供する。		まとめ中段
7	子どもの集まる所には大人を(仕事として)配置する。		まとめ下段
8	防犯カメラの設置 やだ！		
9	自転車買う時に、皆に「パトロール中」のプレートを配布してもらう。		
10	あれっと思った時に連絡する。		
11	共働きのお庭が多くなっている今、登下校時の見守りは難しい。		その他
まとめ(3つ以内)	人の確保(専門家・店・時間のある人)	投票欄 4	
	人目のある場所を作る。又は子どもの集まる場所に仕事として大人が配置される。	投票欄 12	
	間接的な「目」を増やす。(カメラ設置・大人の自転車は全てパトロール中。あれっと感じたら連絡する所を作るなど)	投票欄 4	
残したい意見	スクールバス、タクシーで戸ー戸の通学。		

グループ名	第3回：地域の子どもの見る目をふやすためのアイデアを出してください。	
10		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	町内放送で下校時間を知らせ、外に出るよう呼びかけ。	まとめ上段
2	町内放送で毎日だけでなくも流したりする。	
3	有線放送で知らせる。	
4	警察OBの見回り	まとめ中段
5	街宣車にも協力してもらう。宣伝トラック。馬	
6	高齢者の活用	
7	地域を回っている職業の人に、子どもから挨拶を。宅配、郵便、電気・ガスメーター、ゴミ収集車。	
8	自転車に乗って、数人1グループになり、町内を回ってもらう。パトロール車の自転車版！！	まとめ下段
9	通学路にベンチ。椅子	
10	家の塀を低くする。	
11	監視カメラ	
12	衛星から監視する。	
13	テレビつきのインターホンの配布、助成。(家の中から外を見る)	
14	飛行船やアドバルーンで注意呼びかけ。	
15	見る目の質を変える(挨拶する程度の知り合い)	
16	小さなお祭りなどで、顔見知りになる。	その他
まとめ(3つ以内)	町内に放送などで、下校時間を知らせ、外に出てもらうように呼びかける。	投票欄 19
	防犯レンジャーの結成！(自転車部隊！！)	投票欄 9
	防犯環境を整える。(監視カメラ・通学路に椅子・テレビつきインターホンetc)	投票欄 12
残したい意見	見る目の質を変える。お祭りなどで顔見知りになったり、挨拶する仲になったり。	

第4回 話し合い（まとめの提案）

子どもを犯罪から守るために、
こんなことを始めたらどうでしょう。

グループ名	Q4 「まどめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
①		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	年長の子供が下の子に目を向ける。子供にもそういう意識を持たせる。	交流 (コミュニケーション) <まどめ上段>
2	地域との交流の場があるとよい。	
3	他人の子供に話しかけ易くする(市が認証した園遊を配布)	
4	地域街の寺子屋を立上げる。一指導員の養生	
5	他のお子様にも目をかける。父親・母親	
6	地域毎の(高学年～低学年)をまとめた時間を取る。	
7	警察への通報ではなく、ワンクッションあるとよい。	
8	市民のインターネットに書き込みができる様にしたい。(情報を知らせる)	
9	この「まちづくりディスカッション」を今後も続けていく	
10	公園等の夜間照明を明るくする。	
11	危険マップの掲示	
12	10年がかりで監視カメラを公園、コンビニ駐車場、遊び場場所に設置する。年20台づつ設置。	環境 <まどめ下段>
13	近所との付き合いが少ないので何かあったときの周りの対応がないのではないかと...	その他
まどめ(3つ以内)	地域住民・年長・年少間のコミュニケーションの充実(指導員の育成一遊び、読書等、寺子屋方式)	投票欄 12
	市民側からの情報提供出来る仕組みを作る(インターネット等の利用拡大)	投票欄 8
	環境整備の充実(危険マップを通した活用)	投票欄 5
残したい意見		

グループ名	Q4 「まどめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
②		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	あいさつ運動・防犯一市民・企業・官庁の協力によって	まどめ上段
2	回りが気取る雰囲気作り	
3	地域がわかる	
4	人との交流	
5	大人が声をかける	
6	顔を合わせる場を作る(交流・顔がわかる為)	
7	地域の人々が交流をもてる場づくり	
8	身を守る教育(道徳)→ex情報提供	
9	子供自身が身を守る為の教育	
10	大人に対する教育(子供に伝達)	
11	防犯意識を高める。→キャンペーン月間等	
12	景観を損なわないデザインにも優れた外灯を設置する。	まどめ中段
13	街灯を増やす。(すてきな)	
14	壁を取る。可視性を高める。	
15	人との交流をはかりやすい町並みの構造にする。	
16	人にとって安全な町づくり	
17	三蔵山中通り、歩道のない道の整備	
18	歩道を作成する。	
19	歩道を広げたり、自転車専用レーンを設けるなど、子供も大人も使いやすい道路を整備する。	
20	交番に人、OBを配置	
21	警察を身近な存在に	
22	警察の個別訪問、見回り	
23	パトロール、監視カメラ	
24	警察官を見ないパトロール強化	
25	防災無線による防犯活動	
まどめ(3つ以内)	人間関係を深くするためにイベントを行い、市民・企業・官庁との交流をはかる。	投票欄 8
	身を守る為の教育を子供と大人にする。	投票欄 8
	町並みの整備(歩道の整備、壁の高さ、街路灯設置など)	投票欄 20
残したい意見	防災無線による防犯活動	
	警察によるパトロール強化	

グループ名	Q4 「まどめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
③		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	小さい頃から犯罪について子供に教える	まどめ上段
2	子どもを1人にしない	
3	“不審”から犯罪は発生する。親・子(夫婦)の関係を良くする	
4	家庭で一つの趣味を持つ	
5	家庭教育、しつけの問題。我が子の教育の最低責任は親。親の再教育の機会を設ける。	
6	親からのしつけや悪い事を教える。...多くの機会を持つ。	
7	親は子ども(の考え)を理解する。コミュニケーションを多くする。	
8	まず子供の行動をはあし、理解する。	
9	家庭再建	
10	地域のボランティアの活用。PTA、市役所、企業、町内会、老人会。「きっかけ」づくり	
11	今回の参加者にお預り。一人で多く安全安心パトロール会員になりませんか。...子供の安全安心にも役立ちます。	
12	学校教育。子ども達の自立。善悪をしっかりと教える。	まどめ下段
13	今回のような集まりをこれからも行い、1人1人に意識をもたせる。	その他
14	環境整備(居場所・外での目) 都市計画・車・自転車よりも歩行者優先の街づくり。商店街の振興。児童公園を安心して使えるように	
まどめ(3つ以内)	我が子の教育の最終責任は親子供を理解する。	投票欄 16
	まず一人一人がボランティアなど出来る事から始めよう。	投票欄 4
	学校や家庭で、善悪をしっかりと教える。	投票欄 11
残したい意見	今回のような集まりをこれからも行い一人一人に意識をもたせる。	

グループ名	Q4 「まどめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
④		
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	光る腕章作戦。夜の散歩、通道得りにつける。	まどめ上段
2	「声をかけるためのコミュニケーション研修」の機会をつくる。トラブル回避方法も!!	コア人づくり (まどめ中段)
3	地域コーディネーター、プロモーター育成。シニアの地域参画一仕事のノウハウを生かす。	
4	こわい目にあつたら身近な人にならずにはなしてもらえる	地域参加 (まどめ中段)
5	街のえんがわ、プラウドフォームづくり	
6	地域コミュニケーションの活発化	
7	隣り組合集会所を定期的に持つ。参加を強制する。	
8	ガーデニングパーティー、ハーベキューパーティーを開く	
9	学校ボランティア、学童ボランティア、クリスマス祭り一登録一学校等の総合学習に参画する。	
10	今回のWSの地域版小販を実施する。	
11	性犯罪前科のある人の実名公表や監視強化。罰の強化。国	
12	子供が1人歩きしにしない道づくり	
13	小学校1~3年ぐらいは親の出迎え等遊学路内に残る。	
14	学校の教室の使い方 地	
15	子供を預かる機関、場所を(公的に)倍増する。	
まどめ(3つ以内)	夜も光る腕章作戦 会社帰りの人も参加できる見守り。	投票欄 13
	地域活性のためのプロモーターづくり →ご近所さんの顔を知る!	投票欄 15
	子供を一人にしない環境づくり (・空き教室利用・道の整備 e t c.)	投票欄 3
残したい意見	性犯罪前科のある人の実名公表や監視強化、罰則の強化	
	今回のWSの縮小版を地域単位で開催する。	

グループ名		
5	Q4 「まよめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	中高生の居場所を作る。	まよめ上段
2	児童館を増やす(市内に2つしかないのほ少ない)	
3	コミュニケーションをはかり、信頼関係を築く。	
4	コミュニケーションをはかる為のきっかけをつくってもらいたい。	まよめ中段
5	情報があふれる。	
6	子ども会の行事などに地域の方も参加する。(地区行事)	まよめ下段
7	もっと警官に巡回していただく	
8	防犯環境を整える	その他
9	自分の子供だけでなく、人の子供にも目を向ける。	
まよめ(3つ以内)	児童館を増やす。(市内に2つだけは少ない。) 中高生の居場所をつくる。	投票欄 19
	コミュニケーションをはかり、地域住民同士の信頼関係を築く。(参加をする「きっかけ」(になる情報)が欲しい。)	投票欄 9
	防犯環境を整える。特に警察官の巡回を強化していただきたい。	投票欄 6
残したい意見	自分の子供だけでなく人の子供にも目を向ける。	
	行政に結果を出していただけるよう、お願い致します。	

グループ名		
6	Q4 「まよめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	子供に危険を教えるのではなく、何で、どのように危険が教える。	まよめ上段
2	大人と子供が仲良くなって犯罪の未然防止	
3	防犯の絵本をつくって、親が子供に教える力をつける	
4	地域の子供は地域の大人が育てる。(犯罪にあつたら決して他人事ではない)	まよめ中段
5	子どもに具体的に考えさせる。(危ないだけでない)応用がきく。	
6	大人が目を配ると同時に子供にも自己防衛の意識の教育を	まよめ下段
7	学校と地域の連絡を密にして近所の住民とのコミュニケーションを活発にする。(情報共有化)	
8	子供を一人にまわしさせない。(大人と一緒に文化活動やスポーツをやってみて楽しくなって犯罪防止)	まよめ中段
9	犯罪予備軍を作らない。(夜コンビニの前でしゃがんでいたり、盛り場をウロついていたりする中学生、高校生等の受け入れ場(家庭代りでも)、学童保育やその他夕方から空く時間でボランティア(中高生)が器や掃除、ピアノやギター練習(初歩)、クッキーなどのおやつ作り、レースあみ、キャッチボールetcの指導や相手)	
10	交通安全等の期間だけでなく、いつも登下校時に交差点等に親が立ちあそばす声かけを行う。	まよめ下段
11	学年令の子ども、学年年齢、幼児など兄弟や疑似姉妹も入れるように	
12	退職者等の余っている時間や体力能力を活かすようなシステムをキメ細かく(ボランティア中心)作れないか。(張合いともなる気もち)	まよめ下段
13	子供に合わせた街づくり。インフラ整備。(歩道、施設など)	
14	暗い道等に街灯等をつける。	まよめ下段
15	イルミネーションをつける。	
16	抜け道は住居以外入れないようにする。交通規制。	まよめ下段
17	一方通行を多くする。(対面通行により、歩道が狭くなり危険)	
18	ぼそい道の電柱性は地下に、見通しよくする。知らない車に目が向く。	まよめ下段
19	子供にケイタイ端末(発信機)を持たせ、GPS等で検索できるシステムを	
20	防犯ブザーにGPS機能をつける。	その他
21	ITの活用	
22	学童・保育園の増と時間帯の延長	その他
23	子どもの遊び場、しぜつを増す。※子どもをひとりししない。※しぜつには管理人をおく。	
24	時間帯別による危険地域の周知徹底	投票欄
まよめ(3つ以内)	子どもが危険を判断できる教育をする。(なぜ危ないかを考えよう)	7
	地域♥ぐるみで子どもを守ろう!	2
	犯罪防止のインフラの整備と運用(GPS、街灯、交通規制etc)	6
残したい意見	時間帯別による危険地域の周知徹底	

グループ名		
7	Q4 「まよめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	かけ込み寺を作り、小人知らせておく	まよめ上段
2	子供が相談出来る場所の提供	
3	中・高生の行き場をつくる。コミセン等比較的夜遅くまで場所を開放する。	
4	自分達の住んでいる地域の人とかかわりを持つことで、親の眼だけではなく、多数の人の眼で子供を犯罪から救う。	まよめ中段
5	エンジョイ/トロール、フラワーボット、ワンワン/トロール等色々なボランティア活動を通じて、犯罪を減らしていくようにする。	
6	近所の子供と顔見知りになる。	まよめ下段
7	大人も今までよりさらに地域に気をもる様に。	
8	ボランティアで地域をパトロールする。無理のない丁度。	まよめ下段
9	一歩家を出る時に「君たちを見守っているよ!」の帽子・腕章・ブローチ等を身につけて地域全体で見守る。	
10	子供000(中学生・高校生)からの意見を聞く場を作る。	まよめ下段
11	子供が犯した犯罪の過去の事例を熟知する。	
12	明るい通りを(巡回して)通る。	まよめ下段
13	子供にブザーを持たせる。	
まよめ(3つ以内)	年齢の違う子供達が、集まれる場所として、子供会を復活させ、子供同士のつながりを作る	投票欄 14
	帽子、腕章、等を身につけ、地域全体で見守る。	投票欄 6
	過去の事例を地域で共有し、子供に注意を促す(防犯ブザーを持たせる)	投票欄 8
残したい意見		

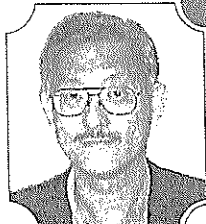
グループ名		
8	Q4 「まよめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	地域の犯罪多発地点を警察より知り先ずは重視する。	まよめ上段
2	犯罪多発地域のリストアップ	
3	警察・役所・学校で協議会を作る。	
4	近隣住民の協力を得て一人で多く目で見守る。	まよめ中段
5	警察・市・教育委員会と協議、連絡、マップ	
6	職業として見守る人を募集	まよめ下段
7	抽選で選ぶ。きっかけをつくる	
8	団塊の世代の能力を活用する	まよめ下段
9	チームを作る。リーダー(有給)+ボランティア	
10	自分たちのマップを印刷提案で作ってもらう	まよめ下段
11	時間のある人は外を見守る。	
12	自分たちの生活に合ったマップ作り	まよめ下段
13	市・区を超えたマップ作り	
まよめ(3つ以内)	警察・役所・学校で連携し協議会を作る。	投票欄 14
	見守る人の賛成(無作為抽出や、団塊の世代の能力の活用。)有給のリーダーが必須。	投票欄 27
	市区を超えた自分たちの生活に合ったマップをプロの指導で作る。	投票欄 6
残したい意見	犯罪多発地域をリストアップし(警察情報)マップに生かす。	

グループ名	Q4 「まどめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	自由パトロールの組織化	まどめ上段
2	腕章、ぼうし等の配布	
3	パトロール、リーダーと共に、徒歩・自転車部隊でまわる。(リーダーと志願者)	
4	地域社会の子供会(小1~中3までの充実(行事の実施))	まどめ中段
5	地域の交流を増やす	
6	地域社会のイベントの実施	
7	登下校時に子供にあいさつさせる。	まどめ下段
8	保護者だけでなく、単身家庭にも協力をしてもらえようアピールすべき	
9	子供以外の若者・大人にも危険情報を発着。あるいは情報を入手	
10	自宅周辺に目を配る	
11	危険場所を可及的速やかに、行政が指導、なくす。[具体例]三蔵台団地の建て替えは完了したが、なお5階建て6棟が旧態。ごくごく少ない世帯が居残っているが、無人の踊り場、廊下の危険性大。	その他
12	親の意識改革。小学校に入った手が離れるという気持ちを捨てる。(背と遠く)送り迎えなど、ある程度昔より負担がふえることを覚悟させる。	
13	真に我が子を愛するなら、親がまず管理・監督を心がけ、子どもにも危機意識育成、芽をつくる。	
14	警察国家は否定するが、マナーより、もうルールで規制すべし。	
15	メディアの意識改革	
16	メディアも含め各企業の社会的責任からも犯罪抑止に努めたい。	
まどめ(3つ以内)	自由なパトロールの充実・組織化(腕章・帽子の配布・リーダー等の育成など)	投票欄 9
	地域社会の協力(子ども会の充実・イベントの実施・子どものあいさつなど)	投票欄 6
	危険情報(犯罪情報等)の周知、(インターネット・広報誌等)	投票欄 8
残したい意見	危険場所の排除、改善	
	親の意識改革	
	メディアの意識改革	

グループ名	Q4 「まどめの提案=子どもを犯罪から守るために、こんなことを始めたらどうでしょう。」	
作業スペース		
番号	付箋内容	グループ分け
1	家庭のしつけ等を通して一人歩きをさせない。	まどめ上段
2	危険場所の周知徹底を図り近づかない育て	
3	子供に金銭価値を教えるべき。一性犯罪からの逃避	
4	事例を示していっしょに考え、理解させる。良い事、悪い事の認識	
5	親の立場として子供の相談相手となつてあげる。	
6	アホが凶暴な子供を連れていって、保護者や教師の立場としてはおろすの	
7	まずは家庭からしつけやコミュニケーションを子供達ととる。	
8	子供を馬鹿にして親い「言葉」を親の立場として使用しない。理由付けた説明を!	
9	自宅で子どもに犯罪への対応をお教える。	まどめ中段
10	あいさつの重要性、近隣住民の認識。頭をおぼえることになる。	
11	自分ができることは、1/1パトロール、2通報、3?	
12	一人歩きを見かけたら(ケースbyケース)積極的に声をかけてケアする。	
13	子どもが被害者とならないために、社会全体で認識する行動を起こす。無関心はダメ。	
14	親側の姿勢(あいさつを親がそっせんで行う) あいさつ運動など学校が企画して近隣をまわる。	
15	「挨拶一人一人、一子供、一コミュニティで挨拶する。明るい地域社会	まどめ下段
16	防犯カメラ、看板設置、警察官の人員増	
17	小学生の内から、スポーツ振興を通してひきこもりを防止し、素直にすこやかに育てる。	その他
18	子どもを被害者とするか、加害者となるか、両面必要となる	
まどめ(3つ以内)	家庭内で親と子どもがしっかり話をしコミュニケーションをとり、理解する(子どもの考えを)	投票欄 15
	地域で住人間であいさつの実行、外へ出でのパトロール行う。(時間・場所の制限なしで)	投票欄 9
	警察官の増員をしてください。(パトロール強化)(防犯カメラ、看板設置など)	投票欄 10
残したい意見	スポーツ、文化振興などに参加し素直な心を養う	
	被害者、加害者両面のことを考える必要性	

新 聞 記 事 等

公開フォーラム



篠藤明德さん

みたかまちづくり ディスカッション 2006に向けて



河瀬謙一さん

みたか市民ボイスをまちづくりに！

(社)三鷹青年会議所主催、市共催、(財)日本青年会議所関東地区ブロック協議会協力。

無作為抽出した市民が会議に参加し、まちの課題を討議する——ドイツで生まれた市民参加の新しい手法を紹介、三鷹での可能性を別府大学教授の篠藤明德さんにお話しいただきます。

その後、パネルディスカッションで三鷹市の市民参加の経緯と現状、8月の実施に向けた新しい手法のディスカッションについて話し合います。パネリストは篠藤明德さん、三鷹SOHO倶楽部代表の河瀬謙一さん、市職員。

▷ 3月10日(金)午後6時30分～9時、市民協働センターで。

▶ 当日、直接会場へ。

⇒市民協働センター ☎46-0048

広報みたか 2006.3.5



市民によるまちづくり議論を取り入れる（三鷹市役所）



第一弾として八月、三鷹青年会議所と共同で「みたままちづくりデイ」を開催。土曜と日曜の二日間かけて「地域の安全安心」をテーマに議論、具体的な方策をまとめて市に提言し、さらに内容を一般公開する。

住民基本台帳から無作為抽出した十八歳以上の市民に郵送で参加を依頼する。参加は任意で、断ることもできるが、市では五十人程度を確保したい考えだ。具体的な金額は未定だが、参加者には二日分の昼食を払う。

住民の意見を直接聞き、行政に反映させる「住民協働」は、多くの自治体で試みられている。ただ参加が一部の関心の高い層に限られる事例が多い。無作為抽出を取り入れることで、「声なき声」

まちづくりに市民の声

東京都三鷹市は、無作為抽出した市民による話し合いで、まちづくりの方向性を決める新たな住民参加の手法を取り入れる。同市はこれまでも公募による市民会議や、インターネットを通じた政策の募集などを進めてきたが、関心の高い一部だけの参加になりがちだった。無作為抽出で市民を選ぶことで参加層を拡大、より正確な民意を把握することが可能になる。

無作為抽出で幅広く

正確な民意把握めざす

三鷹市

三鷹市が採り入れる今回の手法は「プロセスツクスリエ」(ドイツ語で計画のための細胞という意味)と呼ばれる。別府大学文学部の徳藤明徳教授によると、一九七二年以来、すでにドイツなどで三百以上の実施例がある。

例えば参加者を五人程度の小グループに分け、「市街地の活性化」「工場跡地の利用法」など市民の間で意見が分かれる意向を把握できる。市政に無関心だった層から斬新な意見が出る可能性もある。

三鷹市が採り入れる今回の手法は「プロセスツクスリエ」(ドイツ語で計画のための細胞という意味)と呼ばれる。別府大学文学部の徳藤明徳教授によると、一九七二年以来、すでにドイツなどで三百以上の実施例がある。

具体的なテーマについて議論、数日かけて答申をまとめる。

賛成、反対双方の立場からの情報を参加者に提供。現場視察なども取り込む。議論になれていない参加者の声が埋没しないよう、グループのメンバーは随時、入れ替え、特定の市民の意見だけが反映されるのを防ぐ。

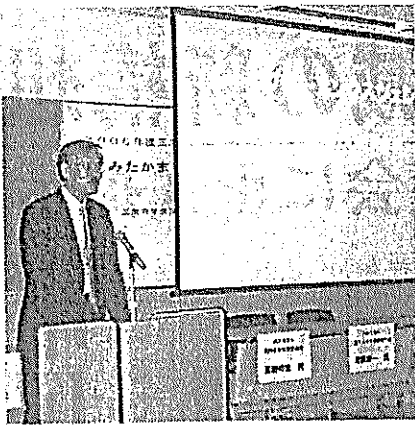
三鷹市 J C 市
三鷹 J C 市

「市民参加」で新手法

無作為抽出し討論・提言

8月に「安全安心」で

三鷹青年会議所(三鷹J C、植村眞志理事長)が三鷹市と共同で、市民参加の新しい手法を実験的に試みる。市民からの公募委員などによる従来の市民参加と違い、無作為に抽出した市民によって討論・政策提言しようとするもので、「声



「プラーヌクスツェレ」について解説する篠藤明徳別府大教授(10日、三鷹市市民協働センター)

を挙げているプラーヌクスツェレという手法。10日、専門家を招いてシンポジウムを開催した。席上、別府大学の篠藤明徳教授がこの手法を解説。その特徴は、①参加者は地域住民から無作為に抽出②有償(議論期間の休業補償)③具体的な課題の解決が目的④専門家から情報提供を受け中立機関がプログラムを設定⑤5人1組のグループを作り日毎にメンバーを変え⑥最後に「市民答申」を作成・公表して解散する一というもの。篠藤氏はこの方式が「どうすればドイツが民主的な国になるか必死に考えた末、イエスカノーかの住民投票ではなく、市民同士が話し合わねばならないと導入されたもの」で、「新た

な市民討論の文化が形成される」と強調した。パネリストの一人、三鷹SOHO倶楽部代表の河瀬謙一氏は、「市民が孤立せず仲間ができるこの方式は社会を良くするために有効だと直感する。楽しく

やりながら、日本流、三鷹流に改良すればいい」と期待を表明した。

共催者である三鷹市からは清原慶子市長があいさつ。「市民参加では30年以上の経験をもつ三鷹市で新たな可能性へ向けた取り組みがおこなわれます。市職員もパートナーとして三鷹J Cとともに歩みたい」と述べた。

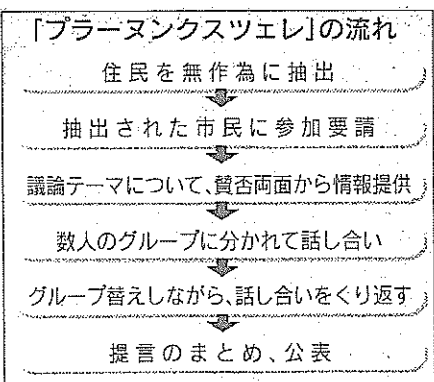
8月26、27日の「みたちまちづくりティスカッション2006」は、「地域の

安全安心」をテーマに、1000人の三鷹市民に通知し、無作為に45人の三鷹市にわたって討論し、出された結果は公表される。

2006年(平成18年)5月31日(水曜日)

まちづくりに参加意識

まちづくりや行政政策の方向性を無作為抽出で選んだ住民により提言してもらおう動きが東京都内で広がっている。より正確な民意を把握したり、市民の参加意識を高めたりする目的だ。青年会議所(JC)が主催し行政に提言する立川市や千代田区のような例が多いが、三鷹市では市が三鷹青年会議所と共同で八月に実施、討議結果を政策に反映させる考えだ。



無作為抽出の市民ら討議

立川青年会議所は今夏から「市民討議会」を開く。八月に立川市、九月には国立市、十一月には武蔵村山市で計画している。まちづくりや教育問題をテーマにする方針で、武蔵村山では横田基地軍民共用化や多摩都市モノレール延伸問題についても話し合う。参加者は市ごとに無作為抽出で選ぶ。討議結果は公表して自治体に提言する。

三鷹市は八月、三鷹JCと共同で「みたかまちづくりデイスカッション」を開催。子供が安心して暮らせるまちのあり方や防犯対策などを考える。住民基本台帳から無作為抽出した市民に近く参加依頼状を送る。必要があれば託児所や手話通訳を用意して幅広い層の参加を得る。千人程度に依頼し五十人弱の参加

政策に反映へ 都内で広がる 立川のJC、今年3市で

を見込んでいる。こうした動きの先駆けになったのが千代田区の事例。東京青年会議所千代田区委員会が昨夏、無作為抽出した区民による初の「市民討議会」を実施した。ただ、テーマが「公益法人税制」と一般にはわかりにくかったこともあり、依頼状を六百人に発送したが出席者は三人と低調だった。

今年も七月一、十五の両日に討議会を開く。住民に身近な子育てをテーマに設定したほか、二日間の日程のうち都合のよい日に来てもらうようにして参加率向上を狙う。討議結果は区などに提言して実現を働きかける。

無作為抽出による市民討議は「ブライアンスツェレ」(ドイツ語で計画のための細胞という意味)と呼ばれる。テーマに関連した情報を提供した後、数人のグループに分かれて話し合い、結果を実際の政策に生かす。

三鷹市は8月末に開催する市民会議の参加方式を、これまでの公募から人口構成に合わせた無作為抽出で実施する。公募では参加メンバーが偏ることもあり、これまでの行政に言を届けよう機会のなかった市民の声を市政運営に反映させるため企画した。同日によると、無作為抽出方式の市民会議は、東京青年会議所千代田区委員会が昨年実施しているが、行政主催は今回が全国で初めてという。

無作為抽出で 挑戦行政に声

6/6 産経

無作為抽出方式の市民会議 三鷹市は、住民基本台帳参加については選ばれた市民「みながまじり」のメンバーを基に、18歳以上の市民1人1人の意思に任せ、承諾書スカッシュシート2006には0000人を、同市の人口構成が定員よりも多い場合は抽選、少ない場合は1000人を無作為抽出し、参加式で選び、今月15日に参加依頼書を送付する。会議出席依頼書を送付する。会議出席参加人数は45人を予定。による謝礼は1人6000円。

専門家レクチャーも実施

同市や青年会議所は現在、突然届いた依頼書に対して市民が警戒しないよう、チラシを配布するなど広報活動を行っている。会議当日は、5人ずつ計9組に分かれた参加者が、テーブルを囲んで議論。テーマへの興味が低い市民でも気軽に議論に加われるよう、専門家による出席者への「レクチャー」も予定している。清原慶子市長は「今回の市民会議は（無作為でも来てくれるかどうかを検証することが第一の目的。何人集まるかは分からないが、挑戦する意味がある取り組みだ」と開催の意義を強調している。

三月に成立した東京都日野市のまちづくり条例。緑化推進や環境維持に企業などの協力を求めるのが特徴で、公募市民らで構成する「市民まちづくり会議」が中心となり策定した。「市民参加は今や空気のように当然」と市まちづくり課の中嶋正美課長(56)は話す。

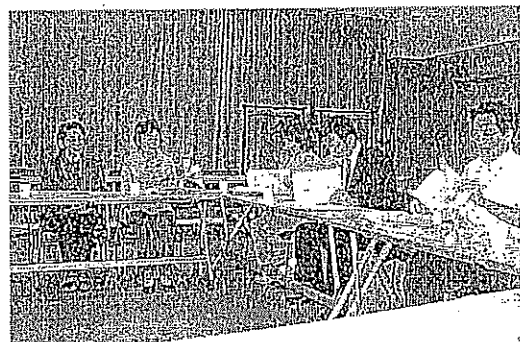
日野で市民が行政に本格参加するようになったのは一九九五年の環境基本条例制定がきっかけ。「市の条例に市民の声

住民参加 実効性いかに

④

はどう反映させたのか」「部議会が(都民の)請願に基づいて制定した都条例とほぼ同様なので、市民の声は反映されている」

生協活動から市議に転じた執印まち子氏は、ある議案の質疑に驚いた。これで民主主義が機能していると言えるのか。自分たちの決まりは自分たちで作ろうと、住民直接請求で市独自の環



知たデン(へみりョ会保くシ員確るツッ委者絞ちカ行加をまスカイの実

▼住民直接請求 地方自治法の規定により有権者は、五十分の二以上の署名を集め、首長に条例の制定や改廃を求め、それができるとして請求を受けた首長は賛否の意見を付けて議会に条例の制定や改廃を諮らなければならない。自治体の監査や地方議会の解散、首長など主要公務員や議員の解職についても住民直接請求の規定がある。

設置、会議を重ねた。「特定の人たちの影響で議論が偏るという批判もあるが参加は自由。意見があるなら加わって議論を修正すればいい」。

直接請求や 市民会議 政策反映で先進性

環境基本条例制定を求める活動を始めた。

住民直接請求は地方自治法に定められた制度だが、市町村合併や不祥事が起きた際の首長や議員が起訴されるのを除き全

国でも活用された例はあまりない。「昔だったら

首謀者は打ち首だ」と猛反発する市の古参幹部もいたという。

だが署名運動を始めるに当り、これをもとに案を作った動きかけた。具体目

だが必要署名数の六倍に当たる一万五千四十六の有効署名が集まった。当時計画では市民参加を一段と徹底。公募に応じた百人のほぼ八人に一人に人余全員で市が委員会を

四年に一部三県の全市区を送り、四十五人の参加を調べたところ、公募委員を採用する会議の比率が高い自治体に多摩市、昭島市など多摩地区が上位を占めた。

日野市や大規模な住民参加で市の総合計画を定めた三鷹市の先行事例が広まった。「高度成長期に移り住んだ新住民が多く、意識が高い反面、昔からのしがらみがない」ことも背景にある。

住民参加が広まるにつれ浮上してきたのが、関心の高い一部の層に参加者が限定されるという問題だ。

これを解答を出すべく三鷹市が取り組むのが、八月に三鷹青年会議所と共同で開く「まちづくりディスカッション」。住民基本台帳から、年齢構成を反映させて無作為抽出した市民千人に案内状

三鷹市の「街づくり」無作為で依頼

「市民会議に参加を」1000通

お手元に市からの手紙が届いたら、ぜひ「参加」の返事をください。三鷹市は無作為に抽出した市民による政策会議「みたかまちづくりディスカッション」を開催する。幅広く偏りのない意見を採り入れる狙いで、全国の自治体でも初めての試みだという。千通の参加依頼書が15日、一斉に発送される。「OK」の返事は何通くるのか？

45人想定「OKをぜひ」

18歳以上の市民約14万6千人の中から、住民基本台帳のデータベースで無作為に千人を選んだ。参加承諾なら30日までに同封の封筒かファクスで返信すればいい。無作為抽出による市民会議は、ドイツでは地方自治体などの主催で開か



いよいよ発送間近。市と青年会議所、そして市民らが集まり打ち合わせ12日、三鷹市市民協働センターで

れ、政策決定に生かされているという。

日本国内では昨年7月、東京青年会議所千代田区委員会が主催したのが初めて。無作為抽出で集まったのは3人で、メンバーが周囲に声をかけて他の参加者を集めたという。

今回、三鷹市が想定するディスカッションの参加人数は45人。清原慶子市長は「不安がないわけではないが、心を込めて呼びかければ、きっと集まってもらえる。「ミニミニティー」行政を掲げる三鷹では、挑戦しなくてはならない取り組み」と鼻息が荒い。承諾多数の場合は抽選になる。

会議は、8月26、27日

の土日に、市民協働センター(下連雀4丁目)で開かれる。テーマは「安全安心のまちづくり子ども安全安心」。

「予備知識がないので、討論なんて無理」という人のために、テーマど、バックアップ態勢もとっている。市は、会議

は、市の担当課長らが事前レクチャーをするなど、バックアップ態勢もとっている。市は、会議

でまとめる報告書を、今後の施策に反映させたいとしている。 会議は、市と三鷹青年 会議所の共同主催。問い合わせは三鷹市市民協働センター(0422・460048)へ。

朝日新聞 2006.6.14

武蔵野

声なき声を行政に

三鷹市が 8月 無作為抽出の市民会議

市民の声なき声を行政に生かそうと、三鷹市は三鷹青年会議所と共同で、十八歳以上の市民から無作為に抽出した委員がまちづくりについて討議する、「みたかのまちづくりティスカッション2006」を八月二十六、二十七日に開催する。市によると、行政が参加した同様の市民会議は全国でも初めてという。

無作為抽出による市民会議は、ドイツの市民参加の手法を参考にした。国内では昨年、東京青年会議所千代田区委員会が全国に先駆けて実施した。三鷹市の場合、

準備を進めてきた。市民会議の委員選出は、市が十五日、十八歳以上の全市民のうち無作為に千人を抽出し、参加依頼書を発送する。参加希望者は三十日まで、同封の承諾書を郵便かファクスで送る。定員四十五人を超えた場合は、七月五日に抽選を行う。

市民会議は、子どもの安全安心をテーマに討論する。市民委員のほか、有識者や市、警察署の担当職員も参加する。協議内容をまとめ、市や関係団体に提案する予定。市コミュニティ文化室は「今まで行政に声を届けるきっかけを持たなかった市民の参加により、より幅広い市民の声を市政に反映できれば」と期待している。

市民会議は八月二十六日が午後一時～四時半、同月二十七日が午前十一時～午後七時で、いずれも三鷹市市民協働センターで開かれる。

問い合わせは、同センター―電0422(46)0048―へ。

(中沢誠)

東京新聞 2006.6.15



都西タイムス 2006.6.15

J C 市
鷹 鷹
三三

市民参加新方式始動

無作為抽出、12時間討論

期待されている。

「みたかまちづくりディ
スカッション2006実行
委員会吉田純夫委員長(三
鷹J C地域ビジョン政策委
員長)の話 三鷹青年会議
所では地方分権が進む中、
行政への市民参加拡大が急
務であると考え、今回の手
法を市に提案させていただ
き、いよいよ実施する運び
となりました。昨年からは準
備をすすめて、4月に市民参
加による実行委員会を立ち
上げ、協議を繰り返してき
ました。多くの市民の方に
ご参加いただき、この方法
が定着していくように取り
組んでいきたいと考えてい
ます。

「安全安心」テーマに

三鷹青年会議所(三鷹J
C、埴村貴志理事長)と三
鷹市がパートナーシップ協
定を結んで取り組む新しい
市民参加の試み「みたかま
ちづくりディスカッション
2006」が、動き始め
た。

三鷹市民の中から無作為
で選んだ人たちに、市政の
重要テーマについて議論し
てもらい、その結果を市政
に反映させようとするもの
で、参加者を選ぶための参
加依頼書の発送が15日行な
われた。日本の行政がこの
方式に主体的に取り組むの
は三鷹市が初めてだとい
う。

具体的には、住民基本台
帳から18歳以上の市民を機
械で無作為に1000人抽
出し、参加依頼書を送付。

参加を承諾した人の中から
45人を抽選で選り、8月26
日と27日の2日間、計12時
間半(休憩を含む)、テーマ
に沿った討論を行なう。今
回のテーマは「安全安心の
まちづくり」子どもの安全
安心」。

討論に入る前に専門家が
らテーマに関する基礎的情

報が提供されるので、予備
知識がなくても大丈夫だと
いう。討論の内容および手
法については三鷹J Cが報
告書にまとめ、清原市長に
提出。市長はその内容を真
摯に検討し、市政に活かす
よう努める(「実施に関す
る協定書」)ことになってい
る。

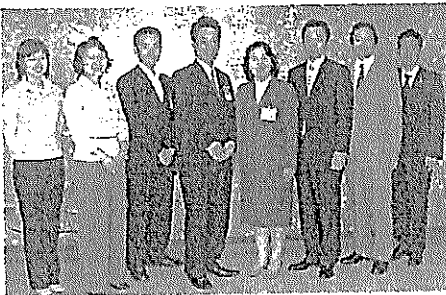
個人情報については、「1
000人の抽出はすべて機

械で行い、住所、氏名、年
齢、性別はごく限られた市
職員しか見ることができな
いよう厳重に管理されてい
る(市担当者)という。
この方式はドイツで始ま
った「フラインクツェレ」と
いうやり方で、市民の間に
新たな討論文化を根付か
せ、声なき声(サイレン
トマジョリテイ)を行政に
反映させることができると

期待されている。

より広い市民のみなさんの声を市政に!

「みたかまちづくりディスカッション 2006」開催



実行委員のみなさんと清原市長

新たな市民参加の手法を検証するため、三鷹青年会議所からの呼びかけに応じて、「みたかまちづくりディスカッション2006」を開催します。

18歳以上のすべての市民の中から無作為で抽出した1,000人の方に参加をお願いし、趣旨に賛同していただいた方のうち45人に、テーマに沿った話し合いをしていただきます。

これは、今まで市政に声を届けるきっかけの少なかった方を含め、広い範囲の市民のみなさんからのご意見を伺い、三鷹をよりよいまちにしようという試みの一つです。

参加依頼書が届きましたら、ぜひご参加ください。

⇒市民協働センター ☎46-0048

開催日

第1日目=8月26日(土)午後1時~4時30分

第2日目=8月27日(日)午前10時~午後7時

会場

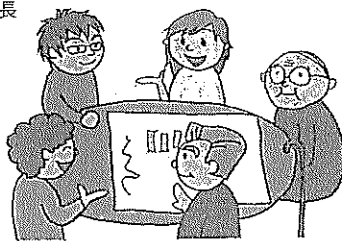
市民協働センター (下連雀4-17-23)

テーマ

「安全安心のまちづくり~子どもの安全安心~」

参加者の決定方法

18歳以上の市民の中から無作為で抽出した1,000人の方に、参加依頼書を送付(6月15日発送済み)し、参加に同意していただいた方の中から45人を抽選で決定します。



事業の概要

- ①ディスカッションに入る前に、専門家からテーマに関する基礎的な情報をお伝えします(予備知識のない方でも安心してご参加いただけます)。
- ②ディスカッションの際は、プログラムの進行に従い、テーマに関する各自の意見を出し合ってください。
- ③市民のみなさんが抱える課題や関心を明確化し、ご提案いただいた内容について、市の施策への反映を検討します。
- ④ディスカッションの手法、内容および成果について、報告書にまとめ、公開します。
※この事業は、青年会議所と市がパートナーシップ協定を締結し実施するものです。

広報みたか 2006.6.18

「子どもの安全」討論会

三鷹で8月 市民1000人無作為抽出

無作為抽出により選ばれた市民が参加する討論会

「みたかまろじゅりディスプレイション2006」が、8月26、27日に三鷹市で開かれる。テーマは「子どもの安全安心」。従来、市などが主催する討論会は顔ぶれが固定されてしまうことが多かったため、三鷹青年会議所（JC）が「これまで意見を言う機会がなかった人を含め、広く意見を募るべきだ」と市に呼びかけて実現した。

JCが市に呼びかけ

討論会は、昨年、同JCが街づくりや地域活性化の課題を議論している際に企画が持ち上がった。従来は、公募の市民による話し合いの場を設けても、地域の有

力者や街づくりに関心がある人など、参加者が限られてしまうことがほとんど。「発言してこなかった市民も、多くが地域の将来を考えているはず。そ

の声を吸い上げる方法が必要」（同JC）として、市とともに今年1月に実行委員会を組織し、準備を始めた。

テーマは、下校中の児童が巻き込まれる事件が全国的に相次ぐ中、市民だれもが関心を持っている題材として「子どもの安全安心」を選んだ。実行委は「地域の安全を守るには、市や警察だけでなく、地域住民の協力が必要。これまでにないアイデアを期待したい」としている。

討論会の参加者については、住民基本台帳から18歳以上の市民1000人を

無作為抽出。そのうち、参加に同意した人たちに、2日間にわたって議論してもらう計画だ。45人を予定しており、足りない場合は再び選出作業を行って参加依頼書を送付する。今月15日に参加依頼書を送付しており、協力を呼びかけている。

討論会の結果は報告書にまとめ、市の取り組みにも反映させる。市は「討論会が成功すれば、市民の意見を聞く方法として恒常的に取り入れることも検討する」（清原慶子市長）としている。

討論会は、同市下連雀4の市民協働センターで、8月26日が午後1時～午後4時30分、27日が午前10時～午後7時。

問い合わせは同センター（☎0422・46・0048）。

まちづくりについて語ろう

無作為抽出の1000人に参加依頼書

三鷹市は、1000人の市民から無作為で参加者を募り、まちづくりについて討論する「みたかまちづくりディスカッション2006」を8月に開催する。テーマは「安全安心のまちづくり～子どもの安全安心～」。広範な生活者の意見を細

った市民は6月30日までに承諾するかどうかの意思を伝える。希望者が定員を超えた場合は抽選で選ぶ。

討論会では、市民45人が15人ずつ3組に分かれ、家庭や地域でできることなどを話し合う。討論の結果は、効果を評

三鷹市が8月26、27日にシンポジウム

かく拾い上げるのが狙いで、初めての試みとなる。三鷹青年会議所の提案で同市が企画。討論会は8月26、27日の2日間。市はすでに無作為に抽出した1000人に参加依頼書を発送しており、受け取

価したうえで市に報告、行政に反映させたい考え。インターネットを通じて市民にも公開するという。

問い合わせは同市市民協働センター(0422・46・0048)へ。
【鈴木梢】

毎日新聞 2006.6.24

三鷹の市民会議 参加承諾が87人

予想超え 枠60人に拡大

三鷹市は5日、無作為抽出した市民千人に参加を呼びかけた「みたかまちづくりディスカッション」への承諾の返事が87人へのぼったと発表した。市は「予想を上回る結果」としており、当初45人だった参加予定者を60人に拡大することを決めた。抽選で参加者を絞り込む。

市と三鷹青年会議所

が、幅広く偏りのない意見を探り入れるねらいで、ドイツの手法に倣って企画した。無作為抽出による市民会議は、日本ではほとんど例がなく、東京青年会議所千代田区委員会が昨年初めて開催した会議では、600人への呼びかけに対して、承諾があったのは3人だけだった。会議のテーマは「安全安心のまちづくり」。8月26、27の両日、市民協働センター（下連雀4丁目）で開かれる。

街づくり議論

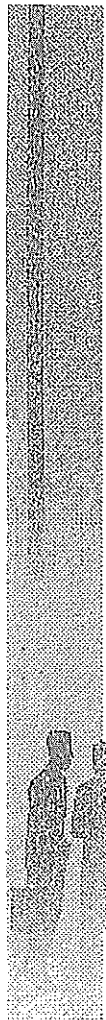
市民参加60人に

三鷹市が枠拡大

東京都三鷹市は無作為抽出した市民で八月に実施する「みたかまちづくりディスカッション」の参加者枠を、予定していた

た四十五人から六十人に拡大する。住民基本台帳から抽出した千人に参加要請の文書を送り、承諾を得た人で協議することにしてきたが、六月末の締め切りまでに承諾者が八十七人と、予想を大きく上回ったため。

無作為抽出した市民による討議は全国の自治体で初めての試み。「声なき声」を行政に取り入れるのが目的だ。どれだけの参加が得られるか懸念していた市は「三鷹市民の参加意識の高さが示された」と喜んでいる。



鷹 「無作為抽出」市民が議論

52人参加「意識変わった」

幅広い意見を盛りなく採り入れようと、無作為抽出した市民に参加を呼びかけた「みたかまちづくりディスプレイ」が26、27の両日、三鷹市の市民協働センター（下連雀4丁目）で開かれた。市三鷹青年会議所の主催で、全国でも極めて珍しい取り組み。18歳から70歳代まで、性別も職業も様々な52人の市民が、子どもの安全安心をテーマに議論、「この2日間、意識がすごいぞ」と変わった」などの声が聞かれた。

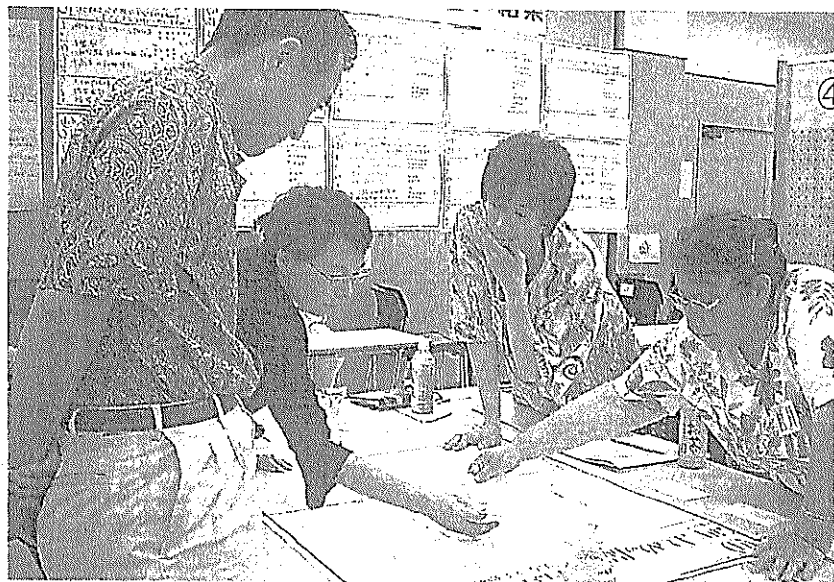
「「うちの安全な大人である」ことを、子どもたちに示す願望があれば」「あ、それいい」「それがあれば帰宅時でも、声かけできるし」5人ほどのグループに分かれて、「子どもを見る目を増やすには」「地域安全マップの使い方のアイデアを」など四つのテーマについて意見を出し合った。

母親、祖父、学生……。それぞれ違う立場からの発言に、みな熱心に耳を傾ける。グループでまとめた提言は模造紙に書き出され、他のグループは、賛同できる意見にシールを張り付けていった。

「わたしみたいなのが行って何もできないって、会場に来るまで迷いに迷いました」と、新井美津枝さん(69)。友人に励まされて参加してみる

14万6000人中1000人に依頼→83人OK

子の安全提言、市長「施策に生かす」



少人数のグループで意見を出し合い、模造紙に提言をまとめていく。初対面でも呼吸はぴったり＝三鷹市市民協働センターで

と、勉強になるし、自分一人ではできないけど、この意見もきちんと一言一語で人の役に立てるなら

「目白大1年の木下雄太さん(19)も出席を悩んだひとり。でも、「何か社会的な経験もした方がいいかな」と思っただけ。普段話さないような年齢の人の意見とか聞けたりして、結構いい経験になりました」。

無作為抽出による市民会議は、ドイツの地方自治体などで開かれ、政策決定に生かされているという。今回は、18歳以上の市民約14万6千人の中から、住民基本台帳のデ

「データベースで無作為に選ばれた千人に参加依頼書を送付。83人から参加OKの返事があり、さらに抽選で参加者を絞り込んだ」。

まとめられた提言は、「市や学区を超えた安全マップづくりを」「児童館の増設を」「見守り要員の養成を」など。今後、報告書にまとめられる。

蒲原慶子市長は「民主主義の原点は話し合いだと再確認した」と話し、提言を施策に反映させることを約束した。

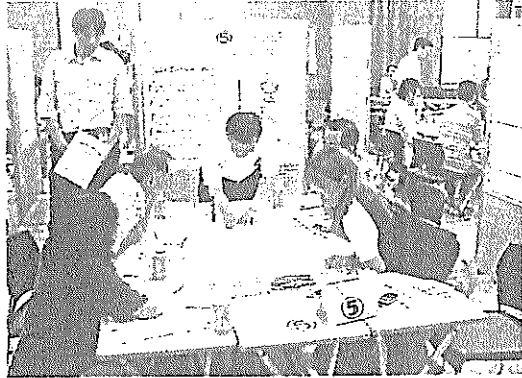
朝日新聞 2006.8.26

武蔵野版

武蔵野支局
武蔵野市西久保
1の4の10
〒180-0013
☎ (0422)51-3131
FAX
(0422)51-3133
広告連絡
(03)5226-9901

購読申し込み
フリーダイヤル
0120-4343-81

「子供の安全安心」テーマに50人



意見を紙に書き出す参加者

討論会は、市と三鷹青年会議所の共催。市などによると、参加者の選定は、市が住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民1000人に対し、参加依頼書を送付し、承諾してくれる人が定員の45人に達するまで、無作為抽出や参加依頼を繰り返し、手法の予定だったという。ところが、承諾した市民は87人に達したため、市では定員を60人に拡大したう

無作為に選ばれた市民が参加する「みたか まちづくりディスカッション2006」が26日、三鷹市下連雀4の市民協働センターで始まった。「子どもの安全安心」をテーマに、27日までの2日間、年齢や立場の違いを超えて街づくりについての意見を交換する。討論会への参加を希望した市民の数は当初の予想を大幅に上回り、市では「街づくりへの高い意識の表れ。市民の熱い思いを裏切らないよう、声を市政に反映させていきたい」としている。

三鷹市民街づくり 激論

えで、抽選で選んだ。青年会議所などによる

と、無作為抽出した市民による討論を街づくりに生かす手法はドイツなどで行われ、昨年、青年会議所千代田区委員会が国内で初めて導入したという。同区の場合、600人を無作為抽出し、参加を呼び掛けたが、返信してきたのは0.5%

にあたる3人だけだった。初日のこの日は60人中52人しか出席しなかったが、市では「9%近くが行政への参加意欲を示してくれた」と手応えを感じている。会議では、市や警察から、子どもを取り巻く現状と課題について説明を受けた

後、10のグループに分かれ、「子どもが危険や不安を感じる場所や時間帯」について話し合った。この後、各グループから出された意見について、参加者が投票、「地域のひとと人とのつながりが薄い場合」との意見に多くの共感が集まった。

読売新聞 2006.8.27

熱い議論を展開!!

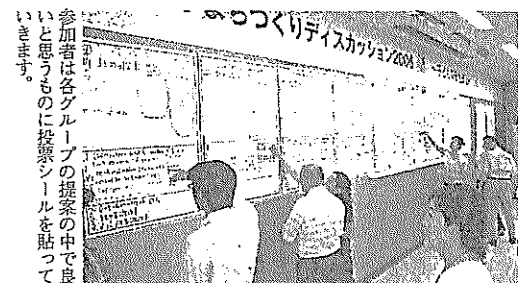
市民が考えるまちづくり みたかまちづくりディスカッション2006

8月26日、27日の2日間、市民協働センターで「みたかまちづくりディスカッション2006」が開催されました。これは三鷹青年会議所の呼びかけを発端とし、市と協働で行った、新しい市民参加の試みです。

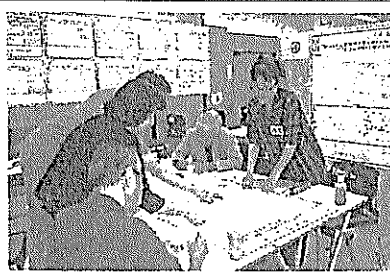
無作為抽出した市民の方に参加を呼びかけ、趣旨に賛同した52人の方が参加し、「子どもの安全安心」をテーマに話し合いを行い、最終日には、「子どもを犯罪から守るためにどんなことから始めたらよいか」について、個人でできること、地域全体で取り組むこと、行政が行うこと、公共機関が連携して行うことなどの具体的な提案が示されました。

4歳と生後8カ月のお子さんをもつ廣森愛子さん（上連雀在住）は、「参加依頼書がきた時は、幼い子がいるので、正直、ちゅうちょしました。でも、子どもの安全には日頃から不安に思うこともあり、思うだけではなく、自分も子どもたちを守るために何か行動しなければと思い、参加を決めました」と話してくださいました。

吉田実行委員長は「実行委員会で何度もシミュレーションを重ね、進行役をつけず、参加者が必要とする時にのみ議論に入る『補助係』を配置するなど細かい点にまで工夫をしてきました。初対面で十分な話し合いができるか不安でしたが、活発な議論が行われてほっとしました。今まで、市政に声を届けることの無かった人たちの声を吸い上げ、市に届けるという、新たな手法を検証できたことは大変意義のあることだったと思います」と話してくださいました。



参加者は各グループの提案の中で良いと思うものに投票シールを貼っていきます。



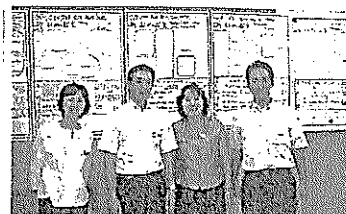
それぞれの意見を紙に書き分類しながら、グループの意見をまとめていきます。

実行委員会では、今後、ディスカッションの実施状況に検証と評価を加え、報告書を市に提出します。

⇒市民協働センター ☎46-0048

広報みたか 2006.9.3

●●●市長三鷹●●●
三鷹市長 清原慶子



右からJC増村理事長、市長、吉田実行委員長、高橋実行委員会事務局長

「話し合い」は

「民主主義の原点」

三鷹市ではこれまで、審議会、市民会議、説明会、パブリックコメント、市長と語り合う会などをはじめとして、さまざまな市民参加の場をつくってきました。特に、審議会、市民会議では公募の市民委員の参加機会を増やしています。そうした取り組みの一つとして、8月26、27日の二日間、三鷹青年会議所（JC）の皆さんと交わしたパートナーシップ協定をもとに、JCの皆さん、市民の皆さん、そして市の職員による実行委員会の運営で「みたかまちづくりディスカッション2006」を実施しました。

参加者の皆さんは無作為抽出で選ばれた三鷹市民1千人の中から参加を承諾してくださった52人です。そのほとんどが、こうした機会は初めてという方ばかりでしたが、二日間、市民協働センターは、「子どもの安全安心」をテーマに、真剣に、活発に話し合う市民の皆さんの熱気であふれました。話し合いを傍聴し、最後のまとめの発表を聞きながら、私は、参加と協働の新しいかたちが生まれたことを確信しました。

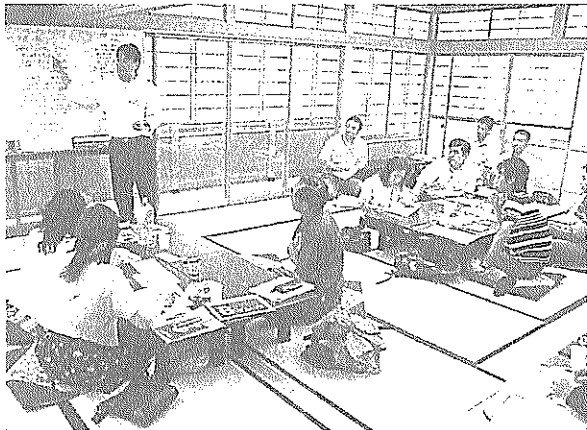
話し合いを傍聴し、最後のまとめの発表を聞きながら、私は、参加と協働の新しいかたちが生まれたことを確信しました。「話し合い」は「民主主義の原点」です。自分の考えを述べることで、他者の話に耳を傾けること、そしてそれをまとめて提案していくこと、その一つひとつが簡単なようで大変むずかしいことです。

今後提出される報告書に期待するとともに、私は可能な限り施策への反映に努力したいと思いをしました。

無作為に選ばれた 「普通の人」が討論

民主主義の新回路？

無作為で選ばれた市民たちが社会問題を討論する試みが広がっている。題して「市民討議会」や「討議型世論調査」。自治体や官庁が関与するものも登場しているが、初対面の「普通の人」だけで討論ができるのかどうか。そして、日本の民主主義に新たな「回路」を開くのだろうか。
(鈴木京一)



4～5人の3グループに分かれて話し合った結果を報告しあう＝立川市内で

社会問題扱い 試み広がる

「じゃあ、だれか進行役をやってくれませんか」
初対面同士がきこえない様子で議論を始める。8月上旬、東京都立川市で立川青年会議所が「市議会と市民のかわり」をテーマに市民討議会を開いた。

市内の500世帯の郵便受けに案内状を投げ入れたところ、13人が出席した。丸1日討論して、謝礼は1万円。50代の主婦は「うちには青年はいないから」と放っておいたけど、「よく読んで勉強になりました」と話す。
同会議所の矢澤貴光さんは「公聴会のように、公募で集まった市民の意見を聞く仕組み」

市民討議会は、ドイツで行われている制度がモデル。日本では昨年、東京青年会議所千代田区委員会が開いたのをきっかけに広まった。このとき

政策につながるには課題

広まりつつある討議民主主義の試みだが、課題は多い。
第1に、無作為抽出といっても出席率は数%程度で、人々の意識をそのまま反映しているとはいえない。三鷹市では「出席できない」理由に高齢や病気が多かった。いわば「弱い立場」にある人の意見は反映されにくい。

第2に、説明者や議題設定次第で、主催者のいいように議論を誘導できるのでは、という懸念がある。実際、地球温暖化に関する討議型世論調査の進め方は、行政施策のPR色が強いものだった。

政策科学研究所による討議型世論調査の準備に携わった早稲田大学大学院の後藤潤平さんは、調査結果を住民投票のように政策決定に直接反映

は無作為で呼びかけた約600人のうち、参加したのは3人だったが、今年は約1200人に対し21人が参加した。今年1月には、経済産業省の委託で、シンクタンクの政策科学研究所が地球温暖化をテーマに「討議型世論調査」を実施。普通の世論調査は質問するだけだが、この調査では、ネット調査会社に登録している100人の対象者が1日かけて議論、その後で質問し、意見の変化を見た。

例えば「地球温暖化問題にとても関心を持っている」人は討論後に20人増えた。初対面の人の間で議論を進めるために、これらの試みでは①5人程度のグループに分けて発言しやすくする②議論の時間を区切り目標を明確にする、などの工夫をしている。主催者が司会者を用意することもあがるが、参加者のみで議論が進むことも多い。

させることには否定的だ。「選挙で選ばれた、という正統性がない。人々が意思決定するときの参照情報にとどめた方がいい。だから行政よりも、マスメディアなどが主催者としてふさわしい」と考える。米国や英国ではテレビ局の協力で安全保障問題などをテーマに実施されている。だからといって、無力というわけではない。「単純な世論調査よりはよく討議した上で、調査結果の方が信頼されるだろう。民主主義に様々な回路があった方がいい」
三鷹市の討議会で掲げられた「話し合いのルール」には、「一人の意見を聞いて、自分の意見を変えてもいい」とあった。議論が苦手、といわれる日本人にどんな議論ができるのか。政策決定につながることを急ぐだけでなく、他者と出会って討論する機会を積み重ねることが必要なのだろう。

各種アンケート結果とデータ集計

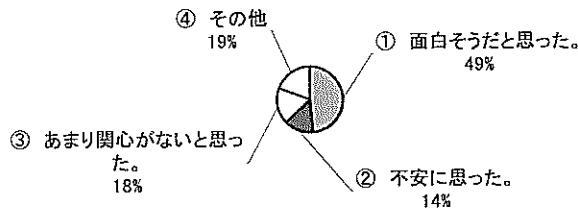
**「みたかまちづくりディスカッション2006」アンケート
225通のデータ分析**

※複数回答のため、合計が100%にならない場合があります。

1 「みたかまちづくりディスカッション2006」の参加依頼書を見たとき、
どのようにお感じになりましたか？

① 面白そうだった。	125人	48.4%
② 不安に思った。	37人	14.3%
③ あまり関心がないと思った。	46人	17.8%
④ その他	50人	19.4%

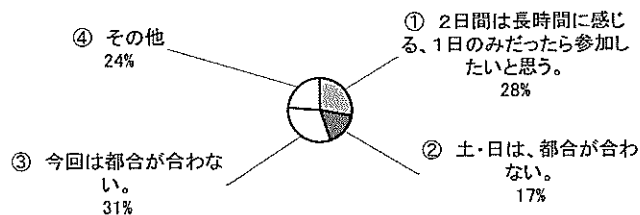
依頼書を見たとき



2 スケジュール【8月26日（土）・27日（日）】について

① 2日間は長時間に感じる、1日のみだったら参加したいと思う。	78人	28.0%
② 土・日は、都合が合わない。	47人	16.8%
③ 今回は都合が合わない。	87人	31.2%
④ その他	67人	24.0%

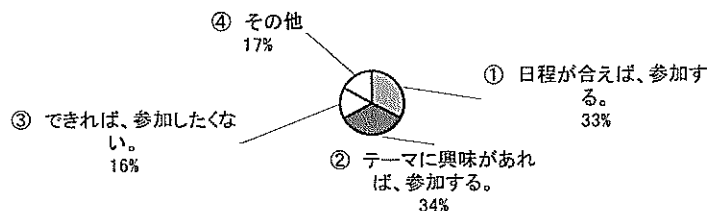
スケジュール



3 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたら、どうしますか？

① 日程が合えば、参加する。	97人	32.7%
② テーマに興味があれば、参加する。	102人	34.3%
③ できれば、参加したくない。	47人	15.8%
④ その他	51人	17.2%

次回



「どのように感じたか」の自由回答欄

件数	自由回答
1	三鷹市に転居して2年、まだ町の事を理解していないので。
2	市民の方々と話し合う場を持つ事はとってもいい事ですね。関心はあります。テーマの内容がもう少し明確になっていれば良いかと思ひます。
3	今回のテーマはあまり関心がない。ディスカッション自体には興味がある。
4	申し訳ありませんが親の介護に忙しくそれどころではない。
5	大型デパートを拒否して魅力ある「まちづくり」を作る気があるのか無いのか。どんなりっぱな学識者が住んでいるのかしらないが、芸文での催し物等もっと色々なジャンルがあっても良いと思う！
6	私共市民にとって有難い事だと思ひました。
7	身体が健康なら是非参加したいと思う。
8	テーマにすごく関心をもった。
9	現在は仕事が大変忙しく無理です。
10	市民の声を反映させることは、とても良いことだと思う
11	日程が合えば、ぜひ出席させていただきたいと思ひました。
12	初めて行うことなのに、もう少し詳しい説明があっても良かったのでは。”参加してみよう”という意欲がわくような内容ではなかった。
13	老齡且つ病身のため、自身の半自立的健康維持に精一杯
14	1000人も抽出しておいて参加定員が45人というのはいかがなものか。
15	未知の人達とディスカッションするには不適と思われる。
16	三鷹に住んで53年これから街づくりに参加していきたい。
17	なぜテーマをもっと詳しくほりさげないのですか？漠然としすぎて伝わってきません。内容をもっと明確にした方が必要を感じるように思ひます。
18	協力すべきと感じた。
19	取り組みを知らなかったので興味は出たが内容がよくわからないと思った。
20	ぜひ参加したいが長時間すぎる
21	住所や名前等、勝手に調査されている気がして、びっくりした。
22	来春引越しを予定しているので、困ったなと思ひました。
23	介護付有料老人ホームに入居しておりますので、不参加とさせて戴きます。
24	～子供の安全安心～というテーマにとてひかれた。 今、子供をねらった犯罪、事件が多いので・・・。
25	無作為抽出だけでなく、すいせんも含めてのが良いのでは

「どのように感じたか」の自由回答欄

件数	自由回答
26	色々な角度からの町づくりは、あっても良いと思っていた。
27	当日までに読んでおくべき資料などがあればよい（もちろん後日でも可）
28	大変良い活動だと思います。息長く続けて欲しいと希望します。
29	ディスカッション事務局様 参加依頼ありがとうございます。息子は重度知的障害のため参加は無理ですので、何とかアンケートにだけ答えさせました。お役にたつかどうか疑問ですが、どうか宜しくお 願い致します。 質問1-④ 無理なの 質問2-④ 行けないの 質問3-④ 一度は行きたい
30	テーマ設定は良いと思う。私の脇に古い空室があり心配です。
31	馬鹿な大人達の教育が先決でこの問題を実行しないと永久に解決出来ない
32	初めて聞いたイベントであった。
33	無作為抽出とはなかなか良い事で、関心しました。
34	COPDの弟（肺気腫呼吸器機能障害）
35	非常に興味が有、重要課題と思考します。
36	三鷹市に住んで日が浅いので、あまり適任ではないと思う
37	大変良い試みだと感じました。
38	三鷹市行政の積極性に好感が持てました。
39	今まで行ってきたボランティア活動が少しでも役に立てば良いと思いますが、残念ながら不都合です。
40	高齢につき遠慮致します。
41	新しい市政の試行としては面白いし、興味もある。
42	今は他に興味ある事が多すぎて、時間的に無理と思った。
43	はっきり言って面倒かな？と思った。もっと皆が参加しやすいものから始めた方が良いかな？と感じた。
44	三鷹町づくりの為に、参加出来る時には積極的に加わっていきたいと常づね思っています。
45	良い機会で参加したいが、仕事の都合で今回は不参加
46	良いことだと思います。参加出来ずにザンネンです。

「スケジュールについて」の自由回答欄

件数	自由回答
1	母は脳内出血で倒れ現在入院中なので参加出来ません。残念です。
2	仕事あるため都合つきません
3	2日目が長時間に感じる。(7時までは長い)
4	身体の具合が悪いので参加できません
5	仕事がシフト制の為、2連休をとることは出来ますが、2日間ディスカッションに使ってしまうことは無理です。
6	子どもがいるのでAm10:00~Pm7:00の参加は無理です。
7	健康上の理由で不参加です。
8	週三日通院、点滴を受けている。
9	子供がまだ6ヶ月で授乳もあるので今回は参加できません。
10	満1歳になる子がいます。とても良い取り組みでぜひ参加したいとは思っていますが、時間が長く今回は無理だと思いました。特に2日目の9時間というのは、託児サービスがあってもムズカシイと思います。
11	むしろ2日間では短いように思う
12	MAX、3時間
13	1日目の3時間半もつかれるかしら、と心配しています。
14	体力的に集中力が続かない
15	日時にはこだわらない
16	夏休み最終の土、日でもあり、家族と過ごしたい。
17	1日だけ1日ばかりになるのは仕方ないかもしれないが、2日間とも半日以上かかるのは長すぎるように感じる。
18	特に2日目、7時までは長すぎる
19	高齢のため
20	拘束時間(特に2日目)が長い。その割に謝礼金が少ないし、所得税まで没収されるのでは、やる気にならない。募集制の方がよいのでは?無作為抽出で意見が欲しいなら、魅力的な特典が必須条件と参加しやすい時間配分が望まれると思う。
21	子供が小さいのであまり長い時間は難しい
22	会議内容及び効果によって判断する。
23	94歳の耳の遠い父がいるので長時間の一人での外出は無理。自分自身も69歳なので10時から7時までの拘束は苦しいと思う。(腰痛がある)
24	腰痛のため参加出来ません

「スケジュールについて」の自由回答欄

件数	自由回答
25	数ヶ月先の予定で、土日がつぶれてまで参加をしようとは思わない
26	1日間でしたら考えるが、特に2日目は長すぎる。特に病気がなおり、病あがりの中の所ですのでは？
27	九州に旅行のため
28	2日目の午前10時から午後7時までは、時間が長すぎる。
29	子供がまだ乳児なので断念しました。内容が子供の安全についてなのに、託児所が1歳からというのは残念です。土、日休みじゃない家族もあるので、2回ぐらいにわけて実施して欲しかった。
30	あまりに先の事で都合がわからない
31	三鷹市に住んでいかれる方の参加が大切と思います。
32	仕事をしているので参加できない
33	8/27日（日）は代表幹事をつとめる母校同窓会に出席の要あり 8/27日（日）の午前10時～午後7時は少し長すぎる様に思う
34	まちづくりは大事な事と前から思っています。人前は苦手
35	託児サービスがあるとしても、2日目の10～19時は少し長すぎ・下の子は1歳未満なので一緒に参加は不可能。2時間ぐらいなら子供同伴で参加はできますが。子供の面倒を見てくれる人がいないので参加したくてもできなくて残念。
36	健康上の理由で出席出来ません
37	体調が悪く、出席できません
38	2日目10：00～19：00では、とても無理です。
39	テーマからその位の時間は必要。
40	出席する気はない
41	残念ですが、7、8月は海外滞在中です。
42	デイサービスを利用しているので参加してディスカッションする事は不可能
43	参加する意思無し（追加選挙に参加の有無位、問う）
44	0歳児の育児をしているので難しい。2～3時間であれば理想。
45	申し訳ありませんが都合が悪く、残念ですが参加出来ません。
46	1日でも10時～7時は少し長時間に感じる。
47	土、日が一番参加しやすい。是非参加したい
48	2日間の濃密な討論を期待しております。

「スケジュールについて」の自由回答欄

件数	自由回答
49	未だ予定が立たない
50	現在体調不良で養生中により参加できません。今回の企画自体は大変意義のあるものと思います。
51	2日間でも短いのではと考えます。
52	就職活動、卒業論文が忙しい。
53	小さな子どもが二人います。大量のアンケートでもかまわないので、書類で回答できるような形、あるいは2時間程度の座談会なら参加できます。
54	2日間でも良いが、1日午前か午後くらいでいいと思いました。
55	1日でも参加できる形式にして戴けると幸いです。
56	病人の具合が悪い為、留守に出来ない。
57	働いている者にとっては、2日間の拘束は参加したくないと思われても仕方がないと思う。
58	仕事で三鷹より足立の方の寮に入っている為、なかなか帰れませんので

「次回」の自由回答欄

件数	自由回答
1	無作為抽出もいいが、高齢一人暮らしの所に出されても困ってしまう。悩んで困って娘の所に持ってきました。ですので代筆させていただきました。
2	上（母が入院中）と同じ事情です。元気な時だったら必ず参加していたと思います。会の成功を願っています。長男。
3	今回のテーマは身近で関心もあるが、三鷹市と協働というのならばもっと行政と意見が交せるテーマを取り扱ってほしい。テーマが先に決まっているならば、いくつかのテーマと日程を掲げて参加したいテーマ、日程を選べると良い。
4	素晴らしい試みだと思います。三鷹市民として誇らしく嬉しく思います。
5	仕事あるため参加出来ません。
6	夫婦で参加なら考えるかもしれません。
7	車イスでの参加は大変です。
8	養護学校に行っている子がいるので結局家族の負担になるし、かといって、あずかって頂けますか？（高三ですが）しかし無作為抽出というのは本当なのだと了解しました。
9	病気のため週に2回点滴を受けているので、健康に自信がないのですみません。
10	半日位であれば
11	同上（健康上の理由で不参加）
12	老人の事とて、不参加を申し訳なく存じます。（私91歳となりました。）
13	家で出来るアンケートの依頼なら参加したい。
14	将来ゆとりのある毎日になれば可能かもしれない
15	テーマの解決の具体案 <ul style="list-style-type: none"> ・街灯を増やす ・住民間の情報交換を密にする ・安全な公園造り ・交番の充実 ・交番に接続する防犯ブザー（学校が賞与する）
16	今回は体調が悪いので不参加
17	貴重な休みなので時間を短くして欲しい
18	本人不在のためアンケートに答えられません
19	高齢のため無理かとおもいますのでのどが弱く咳きこむ事多く、発声に苦労していますので
20	高齢、病身のため難しい
21	1日間だったら参加を考えたい
22	年齢的なものと現在も教会が中心となった生活ですので自治会の幹事も春まで責任があり多忙です。無理と思います。おゆるし下さいませ。 このキリストのうちに知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。新約聖書コロサイ人への手紙2章3節

「次回」の自由回答欄

件数	自由回答
23	高齢のため今後も不参加
24	大学での勉強とアルバイトと趣味の剣道で後輩の指導をしているので時間がとれません。すみません。
25	上記にあげた点が改善なり、条件が整えば参加を考えるキッカケになると思う。一般人が見知らぬ人とディスカッションするのはかなり抵抗があるものです。ただこのような取り組みは歓迎すべき姿勢だと思うので、今後の活躍に期待しています。
26	子供が小さいので参加は難しいかもしれない
27	自分の周囲の状況がゆるせば参加したい
28	締切日を実施日に近い日に設定してほしい
29	積極的に参加したいと思っています。
30	人前で自分の意見を言うのが苦手
31	他の地域に行っても町づくりに参加して行きたい。
32	時間がみじかければ、ぜひ参加したい
33	参加できない(しない)人の為、テーマに添った、もう少し充実したアンケート内容にしたら良いと思います。
34	高齢者、身障者福祉についてなら参加する
35	老齢なので、なるべく若い希望する人に参加させたい
36	参加できず、申し訳ございません
37	仕事の都合により無理
38	体調が悪く参加は出来ません
39	日本国民として人格が無い人達を集める考え、理解に苦しむ(近じか実施される裁判制度が恐ろしい)
40	日程が合えば、進んで参加したいと思います。
41	参加したい気持ちはあるが、時間の都合をつけるのが難しい。
42	もっと時間が短く、気軽に参加できる雰囲気があれば、参加してみたいと思う。
43	是非参加したい。日程は土、日が最良である。
44	本当に三鷹の事を考えているため参加します。
45	子育て問題なら万難を排して参加したのですが・・・いくら託児があっても、丸二日は子供がかわいそうで預けられません。
46	子供をあずけた事がないので心配。一緒に参加出来るなら。
47	長らく腎臓病を患っておりましたので、まだ身体に負担をかけたくありません。

「次回」の自由回答欄

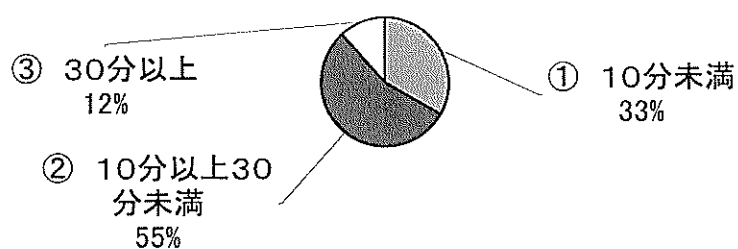
件数	自由回答
48	日程があわなくても、アンケート形式では参加したい。
49	病身の為、外出できませんので御辞退致します。
50	子供がいるので、連れて行っても参加できるような企画だったら参加を考えます。
51	多分同じように無理だと感じるでしょう。
52	体調思わしくない故、勝手乍ら不参加させて頂きたくお願い致します。
53	すみませんが、今の所無理かもしれません。ごめんなさい。

「みたかまちづくりディスカッション2006」旗あげアンケート

- 1 市民協働センターに来るまで、どのくらい時間がかかりましたか？（回答数=51）

回 答	人 数	割 合
① 10分未満	17人	33.3%
② 10分以上30分未満	28人	54.9%
③ 30分以上	6人	11.8%

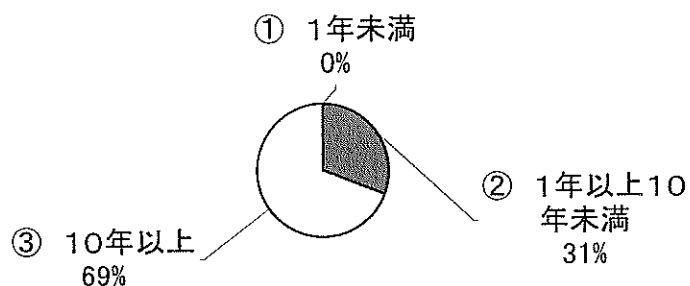
来るまでの時間



- 2 三鷹市にお住まいになって何年ぐらい経っていますか？（回答数=52）

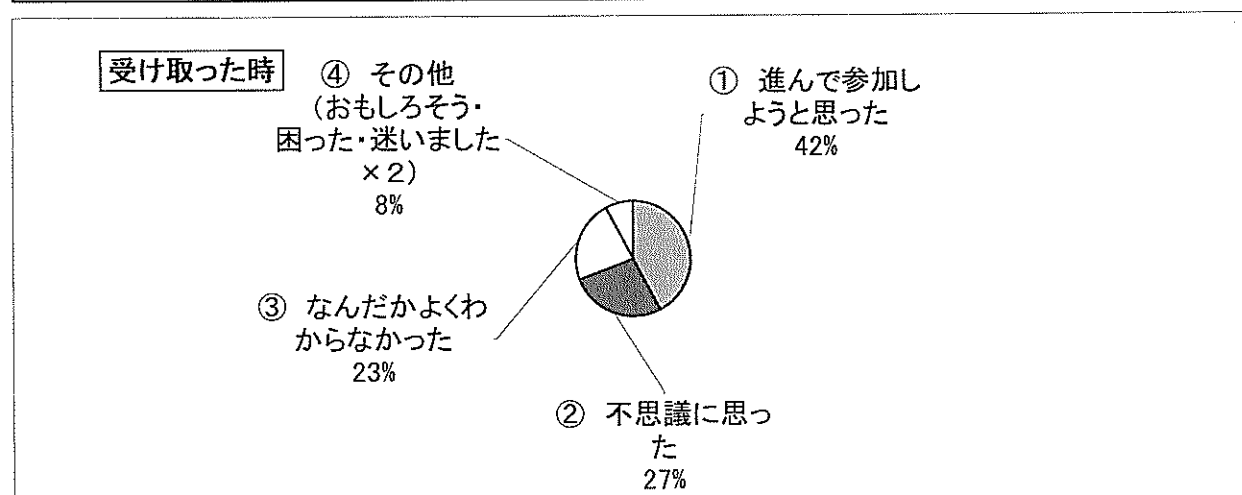
回 答	人 数	割 合
① 1年未満	0人	0.0%
② 1年以上10年未満	16人	30.8%
③ 10年以上	36人	69.2%

居住年数



3 参加のお願いを受け取ったとき、どう思いましたか？
(回答数=52)

回 答	人 数	割 合
① 進んで参加しようと思った	22人	42.3%
② 不思議に思った	14人	26.9%
③ なんだかよくわからなかった	12人	23.1%
④ その他 (おもしろそう・困った・迷いました×2)	4人	7.7%



「みたかまちづくりディスカッション2006」手あげアンケート

- 1 これまで、行政のよびかけによる市民会議に参加したことがありますか？
(回答数=50)

① はい	2人	4.0%
------	----	------

- 2 「みたかまちづくりディスカッション」は無作為抽出という方法で参加していただきました。
もし、次回無作為抽出をしたら、皆さんは参加対象にならないかもしれませんが、この「みたかまちづくりディスカッション」を開催した方がいいと思いますか？
(回答数=50)

① はい	50人	100.0%
------	-----	--------

- 3 再度、「みたかまちづくりディスカッション」の参加依頼が来たら参加していただけますか？(回答数=50)

① はい	41人	82.0%
------	-----	-------

- 4 開催時間についてどう思いましたか？(回答数=50)

① 短いほうが良い	25人	50.0%
② 長くても良い	8人	16.0%

- 5 参加していかがでしたか？(回答数=50)

① 楽しかった	45人	90.0%
---------	-----	-------

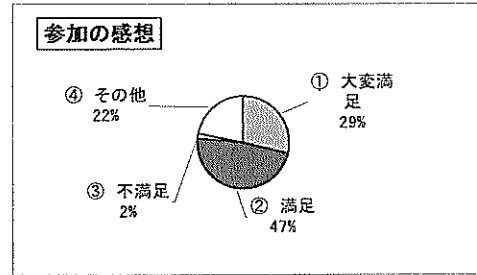
- 6 一人でも知り合いが増えてよかったと思った方、手をあげてください。
(回答数=50)

① はい	31人	62.0%
------	-----	-------

「みたかまちづくりディスカッション2006」参加者アンケート
 ※アンケート回収は、50枚です。

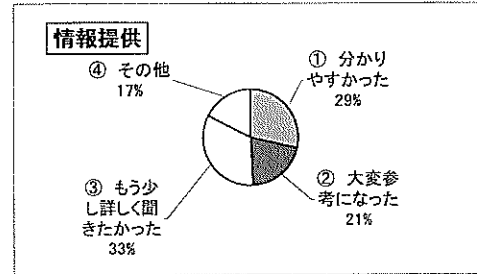
1 参加された感想をお聞かせください。
 (該当するものに○をご記入下さい。複数回答可。回答数=59)

① 大変満足	17人	28.8%
② 満足	28人	47.5%
③ 不満足	1人	1.7%
④ その他	13人	22.0%



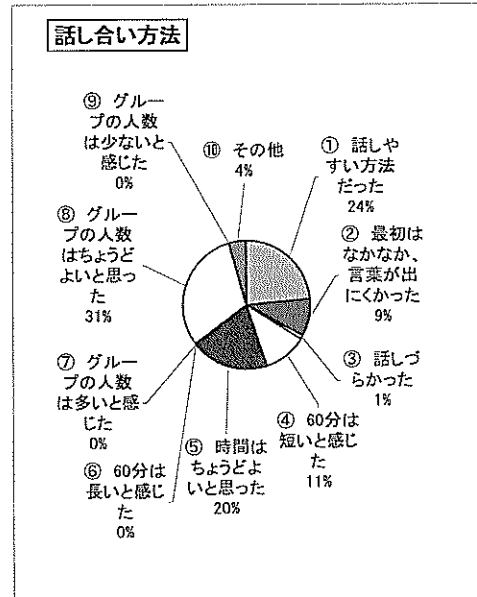
2 情報提供について (複数回答可。回答数=63)

① 分かりやすかった	18人	28.6%
② 大変参考になった	13人	20.6%
③ もう少し詳しく聞きたかった	21人	33.3%
④ その他	11人	17.5%



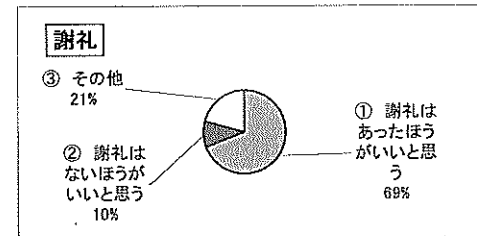
3 話し合い方法について (複数回答可。回答数=139)

① 話しやすい方法だった	33人	23.8%
② 最初はなかなか、言葉が出にくかった	13人	9.4%
③ 話しづらかった	1人	0.7%
④ 60分は短いと感じた	15人	10.8%
⑤ 時間はちょうどよいと思った	28人	20.1%
⑥ 60分は長いと感じた	0人	0.0%
⑦ グループの人数は多いと感じた	0人	0.0%
⑧ グループの人数はちょうどよいと思った	43人	30.9%
⑨ グループの人数は少ないと感じた	0人	0.0%
⑩ その他	6人	4.3%



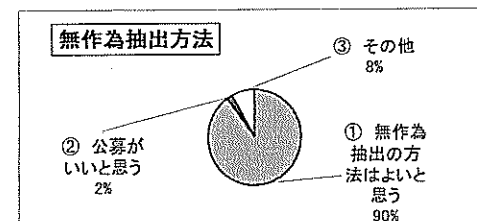
4 謝礼について (回答数=48)

① 謝礼はあったほうが良いと思う	33人	68.8%
② 謝礼はないほうが良いと思う	5人	10.4%
③ その他	10人	20.8%



5 今回三鷹市で初めて無作為抽出により参加者を選ばせていただきましたが、この方法についてどう思いますか? (回答数=50)

① 無作為抽出の方法はよいと思う	45人	90.0%
② 公募が良いと思う	1人	2.0%
③ その他	4人	8.0%



自由意見は、次ページ以降参照

参加された感想の自由回答欄

No.	自由回答
1	期待通りではなかったが、市民のいろいろな考え方感じ方に接することができて良かった。
2	高齢者に対する問題も提起して欲しい
3	三鷹市の市政が良く、具体的な提案は難しかった
4	是非また参加する機会があれば。
5	ほぼ満足でしたが、2～3不満足な面もありました
6	1回限りではなく続けて欲しい
7	いろんな意見が出た事は良かったが、結果を期待しています。
8	具体的な意見が出て、まとめではかなり抽象的となり意見が繋がらないのでは？と不安に。 経験としては良かったが、この結果がどれにつながるか・・・？です。
9	1日目からコーヒーとインスタント（粉）の紅茶があってほしかった。
10	1日目の話し合いの結果を発表させる事が出来ず残念だった。
11	地域（市という単位で）でこのような機会をもつ経験で、やっと市民になった気持ちになれた。
12	もう少し根本的なディスカッションができればよかった。

情報提供についての自由回答欄

No.	自由回答
1	安全安心の取り組みの効果が判らない。
2	パネルディスカッション（初日）がディスカッションになっていなかった。
3	話し合い内容とかけはなれた情報があり（官庁よりの内容）もっと具体的な情報がほしかった。
4	行政当局との話し合い（質疑応答も含めて）の時間がもう少し多い方がよい。
5	市長、警察官、わかりやすくはあったが通り一辺で、実際求めている情報とは程遠いと感じたのですが、終了のときのコトバで少し考えが変わりました。子どもが安心して育つ事の出来る三鷹を期待します。できる協力は惜しみません。
6	半分以上参考にならなかった。
7	話し合うに際してあまり参考にならない話があったように思う
8	情報内容が偏った感じがした。
9	提供することでプレーストーミングが少々巾が狭くなった感もあるが、共有事項がないと進まないのでもたしかたないと思う。
10	情報提供の内容をもう少し工夫して頂きたかったです。（例：子どもの生態、市民の動き、日昼市内にはどのくらいの人がいるか等）
11	少し話し合いの情報提供とは外れたものがあったので、変更した方がよい

話し合い方法についての自由回答欄

No.	自由回答
1	自己紹介のときテーマについての意見を言ってもらってはいかがですか？その方が議論に入りやすいと思いました。
2	メンバーによって雰囲気が変わったり、脱線する方向に走ったり。それが逆にオモシロかったです。
3	スタッフによってやり方が違ったり、もっていき方が違っていた。
4	本音を語るには難しい時間だと思った（初対面の人、話の長い人がいるなどの条件のため）
5	いろんな年代の方がいて、いろんなお話しがきけました。
6	補助者というよりファシリテータとして各グループに提供者が配置された方が意見が広がる様に思います。
7	だらだら会議をせずにすんだので、時間はちょうどよい
8	60分は短すぎると感じた。

謝礼についての自由回答欄

No.	自由回答
1	あったほうが責任を感じてよい
2	交通費、お茶代程度（5～6千円）
3	どちらでもよい
4	不明
5	「お弁当」やや小さめ・・・。
6	景品だけでも良いと思うが、多分それでは人が集まらないと思う。
7	2日間という時間の拘束に対して小額でも。
8	僅かばかりの謝礼をもらうよりは、ボランティアの方がすっきりしている。昼食も手弁当でよい。
9	あったほうが良い理由・・・結構疲れるし・・・。有難いです。
10	どちらでも良い！
11	どちらとも言えません。交通費程度で良いのでは、と言う気もします。が、仕事を休んだ方もあるかも知れないし。
12	なしが理想ですが少し難しいかな、現実的に
13	謝礼があるから参加してみようと思う若い人もいます。
14	無くてもよい（あるいは相当額にするか）
15	会社を休んだり、仕事を休んで来る人（参加）する人もいます。
16	小額であっても今後継続していくためには必要だと思う。
17	交通費でよい。但し駐車料金も含めて
18	どちらでもよい
19	わずかで良い

無作為抽出の方法についての自由回答欄

No.	自由回答
1	今回参加出来有意義でした。
2	公募の場合は偏る可能性があると思うから。
3	公募だと参加者がいつも同じになる？別に公募で参加できる場が（も）あればよい。
4	この方法も良いがもう少し幅広い年代がまんべんなく参加していると良いと思った。
5	無関心な人にも関心を持ってもらえるから、無作為抽出は良い
6	ユニークでおもしろいアイデアと思った。
7	より多くの人に参加するという意味で、無作為抽出は良い
8	忌弾なく発言できるのは、今回初めて顔を合わせたメンバーだったから。これが地元だったら本音で話せないね。と話しに出ました。（無作為抽出はよい）
9	市政を始めとして、いろいろ自分の意見があっても出す機会が普通はないし、もっと他の場合でも市民の声をさせるチャンスを与えてほしいから、無作為抽出を活用したい
10	どちらでも良い（公募の場合は事前に簡単な意見を出させて人選する等が必要か）
11	無作為抽出はよいと思いますが出席したいと思っても当たらない場合があるため
12	公募と無作為抽出、両方というのは難しいでしょうか。
13	今後市民企画の場をもっていくのであれば、参加した人が次はお世話をしたり守備したりするように輪を拡げていっていいと思う。
14	公募の方が、より深く充実するかもしれないが、無作為はユニークで良い。

その他お気づきの点などの自由回答欄

No.	自由回答
1	参加したみなさんは、本当に三鷹を愛している素晴らしい市民であると認識できます。この意見は、日頃声だけ大きいワガママな人間や、市の状況を考えない議員の意見とは、大きな相違があることを強く意識してください。
2	<p>転居して4年目になりますが、本会議で三鷹市が安全な市なのかどうか判断できると思っていました。結局判りませんでした。犯罪事例など三鷹市のものを紹介していただき、その対策として取り組んだ結果、成果があったなど情報提供していただければと思いました。今回の会議が政治パフォーマンスに終わることなく様々なテーマ、特に市民が望んでいるテーマについても同様に市民参加できる会議を開催し、行政側では目の行き届かなかったことを市民側から指摘できる仕組みをつくって下さい。</p> <p>今回のテーマは参加者が意見を言いやすいものとのことでしたが、次回からは問題になっていることでもいいのではないのでしょうか。私は今回のテーマですと、「三鷹は危険なところなのでどうしたらよいか、市民のアイデアを下さい」と受け取りました。2日間の会議を通して、三鷹は今でも比較的安全な町ではないかと思えたので、最後の議題、「子供を犯罪から守るために何を始めるか」は、市民の不安を漠然とあおっているだけではないのでしょうか。本来は「三鷹は安全で、子供の被害も少ない」ことが話題になり、それを取材すると、市民が行政に参加していたことが判った、というのが自然ではないのでしょうか？</p> <p>今回は抽選に当るかわからないので、とりとめもなくいろいろと書きましたが、開催しただけで終わらず、意義のあるものにして下さい。本会議が次回も参加したくなるような成果に繋がれることを期待しています。</p>
3	三鷹市当局の積極的取組みに感謝致します。またボランティアの皆さんのご尽力にも有難うございました。十分な成果を得られました。
4	年少者、年配者等はビジュアル的に視覚にうったえた方が効果的である。芸能奉仕団(?)を結成して何時でもそれに応える様な立場の方が居られたらベター(犯罪防止等の)。運営の皆様御苦労様でした。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば1日完結が良い。土曜又は日曜の1日をフルに使って(現行スタイルでも可)。 ・事務局は大変と思いますが、半期毎等続けて行う方が良い。常に環境も変化していると思うので。 ・次回があれば、今回参加メンバーを何割か入れる方が良い。
6	このような手法が行政や市議会で活用されれば、活気が出るように思う。
7	テーマがより具体的(施設の建設の有無)の方がよかった。 市への提言とするとすることだが、出したアイデアに必ずしも賛成という訳ではない
8	場所がせまいと思います。グループ別ディスカッションの場と全体会議の場所は別にした方が良いと思います。
9	安心・安全がテーマなのに、情報提供で安全さをアピールされると、テーマとして成り立つか疑問に思った。もしあるなら、もっとさし迫る問題の方がよいと思う。
10	質問に多少ダブリがあった感じ。
11	現役で子育てをしていない(終えた、これからの)方も子どもたちの安全について大いに関心をもっていただいているのには驚いた。「ディスカッション」の継続的發展、結果(実現)のフィードバックを願います。(「安全マップ」ダウンロード可能に!)
12	市の職員、主催者の方々が、とても手際良く誘導して下さい、安心出来ました。 市民として、居住する市を行政と手をたずさえて、良くしていくのだ、という自覚を強くすることが出来ました。この様な機会を下さり、ありがとうございました。
13	有意義な話し合い、次回もぜひ参加したいが、“無作為抽出”では無理か。

その他お気づきの点などの自由回答欄

No.	自由回答
14	Q4の“まとめ提案は” Q1～Q3とかぶるところが多かったと思いますので、グループ①の方が提案されていたQ1～Q3の得票の多かったものを、再度話し合う、という方がよいと思います。
15	未就児童だけでなく、小学生も預かってほしかった。
16	公募にしたら、恐らく私は応募しなかったと思う。 謝礼については、千代田区はどの制度だったのか。
17	最初に情報を提供してしまうと、その情報をもとに皆が考えてしまうので、情報を入れずに意見を出し、その後、情報提供し、さらに意見交換をすると、新しい斬新な意見が出やすくなるのでは？
18	普段、余り関心がなかった事を、2日間改めて考えるチャンスを作って下さった事に感謝
19	・今回のテーマに関していえば、教育現場の人、高学年の児童代表が参加していればよかったと思う。 ・二日間という日数は少なすぎると思う。
20	60分は最初長いかなと思っていましたが、実際に話し合ってみると短く感じたので、もう少し長い方がよいと思いました。市民の声が行政に直接とどくこのような活動は、よりよい町づくりや住民の意識を高めていく上でとても大切だと思う。
21	・ポストイット制を今回だけで終わらせず継続して行えば、さらに市民参加の町づくりにつながると思う。 ・今回は大人の視点に立ったディスカッションだったが、これを小学生、中学生、学校関係者なども行えば、多面的な視点から安心・安全を考えることができるし、多くの人の意識向上につながると思います。
22	このような市民が話し合う場所をもっとたくさん設けて、よい街づくりに生かしてもらいたい。
23	スタッフの方々、いろいろご苦労様でした。休日返上で大変でしたでしょう。良い経験をさせて戴いて感謝します。楽しゅうございました。ありがとうございました。
24	自分から大きい声を出さない人でも、このような機会があれば、声なき人の声が聞こえ有意義では！
25	・高学年の子供もいっしょに参加してはどうか？ ・さらにつっこんだ具体的な案までやりたい。（実施するところまで）
26	市民としての意識を持つきっかけになった。ディスカッションは年に2回ぐらい実施すると良いかも。市民1人1人が一生に1～2回参加できたら、市民のまとまりがでるのではと思います。次はストップ！少子化でしょうか。
27	拘束時間が長い点が大変だが、1日だけやテーマを簡単にするなどして、無作為抽出で参加させる事はいいと思う。（いろいろな市民が顔あわせできることや、そのテーマの意識を高めるという点で） 最後の清原市長のお話（努力のたまものなのではないでしょうか）心に残るいいお話でした。お体に気をつけてこれからもよろしくお願いします。
28	日曜日、朝から夕方までは少しつらい。
29	参加して、事務局の方大変御苦労様でした。投票シールというアイデアが、とてもおもしろくて簡単でわかりやすく良かったと思います。

その他お気づきの点などの自由回答欄

No.	自由回答
30	このようなWS（ワークショップ）がコミュニティや町会といった小さいレベルでも「語り場」のような形で行われていくといいと思います。その場合プロセスにかかわる（コンテンツには関わらない）ファシリテーターを養成していくことも遠回りかもしれませんが、効果が期待できるのではないのでしょうか。 テーマは今後拡げていけますか？高齢者、少子化、介護予防、認知症予防等々テーマはたくさんあるように思います。もっと気軽にいろいろできる市になりたいと思います。
31	情報提供のホワイトボード利用は見えない。スクリーンなどで拡大するか、個々への資料として配布して欲しい。
32	4回の投票結果ですが、バラバラでなく連携していく形であるとより効果的な投票になったと思います。交通と防犯、どちらかに絞っても良かったです。
33	ある程度、テーマをしぼり込んでもらった方が、多くの人から意見が出やすい。
34	この「みたかまちづくりディスカッション」を、これからも続けてほしい。別のテーマ（地域商店街の活性化など）でやってみるといいと思います。
35	実行委員会の皆様、準備、当日の進行等、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。
36	・オチのまとめは、重複していたため、難しかった。このままで留まらず、ぜひ次回につなげてほしい。 ・スタッフの行き届いた対応はとても良かった。お疲れ様！
37	実行委員会の取り組みに敬意を表したい。清原市長はすてきな方であった。
38	市民参加のこのディスカッションは有意義と思います。今後は継続を希望します。J・C（青年会議所）の活動を期待します。
39	休憩時間が長過ぎだと感じたので、短い休憩を細めに入れ、全体の時間短縮を図ったら、良いと思う。
40	不道徳がもんだい。吉祥寺で、純潔ラリーというのを見た事がありますが、家庭が重要である今、不倫、離婚も、解決してゆくべきだ。ディスカッションのテーマについて、もつ少し、範囲を指定して下さるとか、補助係の方がテーマに対する意識の統一や、そのテーマについてディスカッションする目的を明確にしてくれていればよかったなと思います。不安や危険はどこまでも考えれば、やはり個人→家庭→地域→国まで発展します。より良い日本になるようにするには、犯罪がおこる原因をつきとめて、それを解決してゆくべきだと思います。親子のきずなや愛、おもいやり、自己中心ではなく利他的な為生きる世界づくりが必要ではないでしょうか。
41	又こんなチャンスがあれば出席して見たいと思う。
42	また開催してほしいです！
43	このような企画が又違ったテーマでも行われるといいと思う。

平成18年7月4日現在

「みたかまちづくりディスカッション2006」の郵送後の応答データ

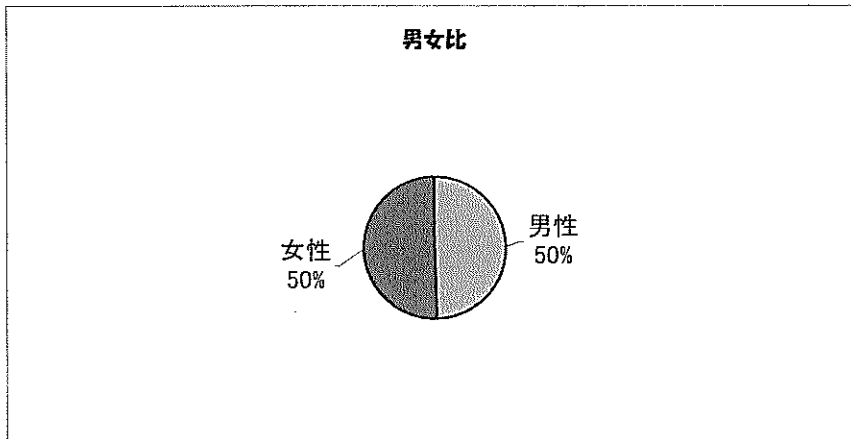
	人数	パーセント
承諾書	87人	8.7%
アンケート	225人	22.5%
転居先不明等の郵便戻り	15人	1.5%
お断りのお電話	8人	0.8%
合計	335人	33.5%

発送人数 1,000人
募集人数 45人
超過人数 42人

東京都 三鷹市 平成18年4月1日現在 各種人数割合

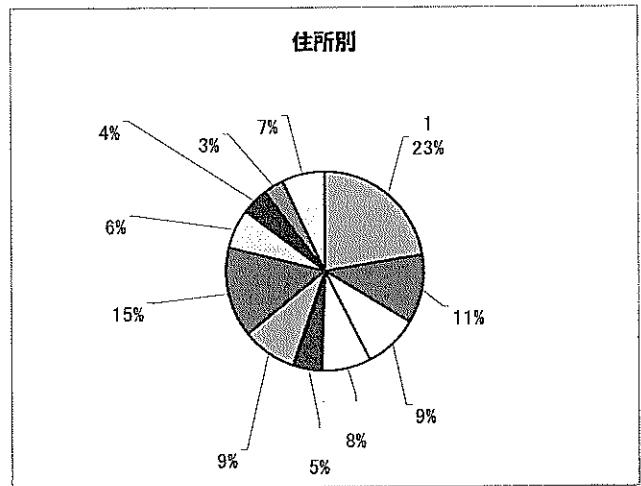
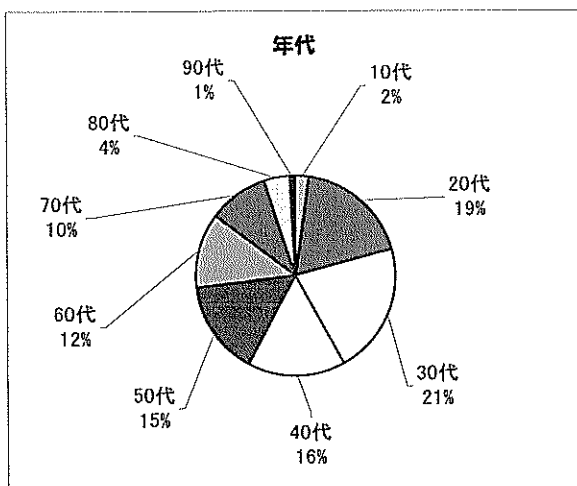
データ

男女比	男性	女性	合計
人数	84,898人	86,363人	171,261人
割合	49.6%	50.4%	100.0%



年代	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代
人数	3,266人	27,333人	30,965人	23,179人	22,259人	18,166人	13,929人
割合	2.2%	18.6%	21.1%	15.8%	15.2%	12.4%	9.5%
					80代	90代	合計
					6,220人	1,284人	146,601人
					4.2%	0.9%	100.0%

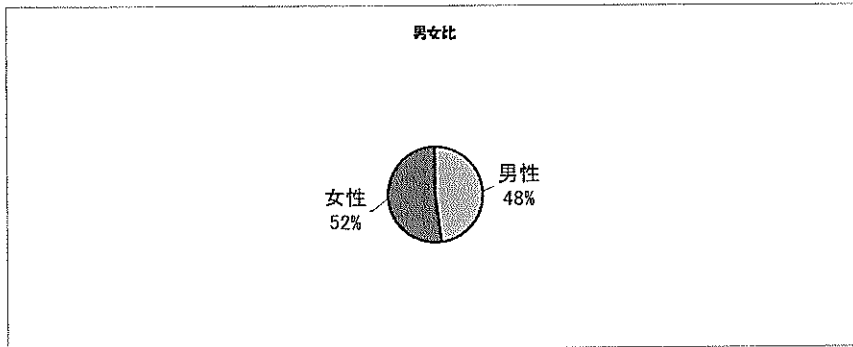
住所別	井の頭	井口	下連雀	上連雀	新川	深大寺	大沢
人数	38,771人	18,647人	15,562人	13,800人	7,795人	15,282人	25,042人
割合	22.6%	10.9%	9.1%	8.1%	4.6%	8.9%	14.6%
			中原	北野	牟礼	野崎	合計
			10,981人	7,544人	5,839人	11,998人	171,261人
			6.4%	4.4%	3.4%	7.0%	100.0%



みたかまちづくりディスカッション2006送付者

データ分析

男女比	男性	女性	合計
人数	479名	521名	1,000名
割合	47.9%	52.1%	

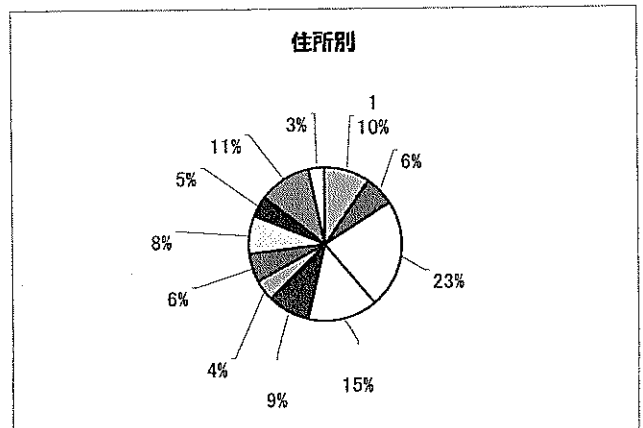
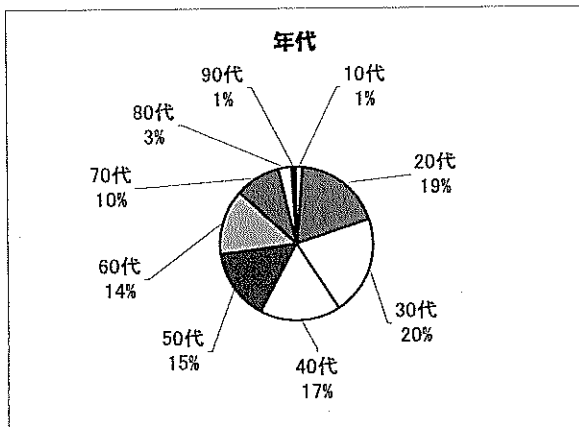


年代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
人数	14名		187名		208名		168名		152名		139名		95名	
割合	1.4%		18.7%		20.8%		16.8%		15.2%		13.9%		9.5%	
男性・女性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	8名	6名	97名	90名	95名	113名	84名	84名	77名	75名	65名	74名	44名	51名
割合	1%	1%	10%	9%	10%	11%	8%	8%	8%	8%	7%	7%	4%	5%

80代		90代		平均
30名		7名		47.0歳
3.0%		0.7%		最高齢
男	女	男	女	94歳
9名	21名	0名	7名	最年少
1%	2%	0%	1%	18歳

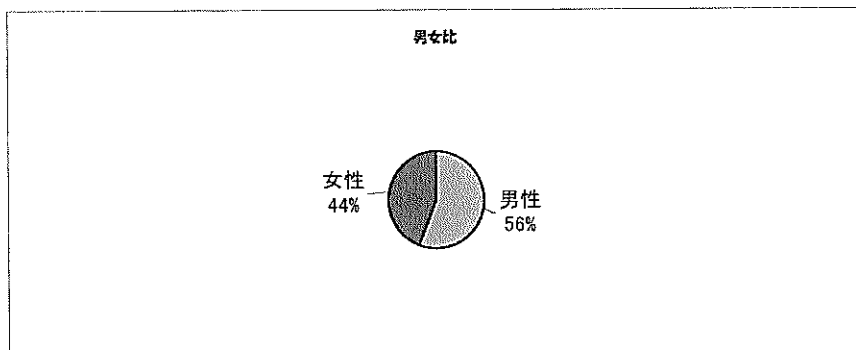
住所別	井の頭	井口	下連雀	上連雀	新川	深大寺	大沢
人数	96名	64名	229名	148名	89名	44名	60名
割合	9.6%	6.4%	22.9%	14.8%	8.9%	4.4%	6.0%

中原	北野	牟礼	野崎	合計
81名	45名	110名	34名	1,000人
8.1%	4.5%	11.0%	3.4%	100.0%



データ分析

男女比	男性	女性	合計
人数	29名	23名	52名
割合	55.8%	44.2%	-
出席率	84.8%	88.9%	86.7%

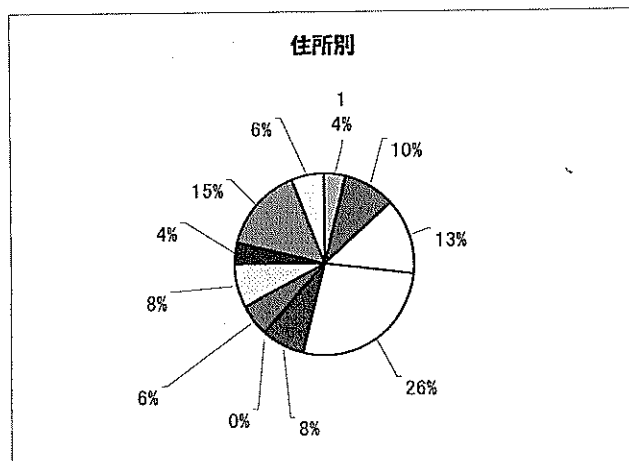
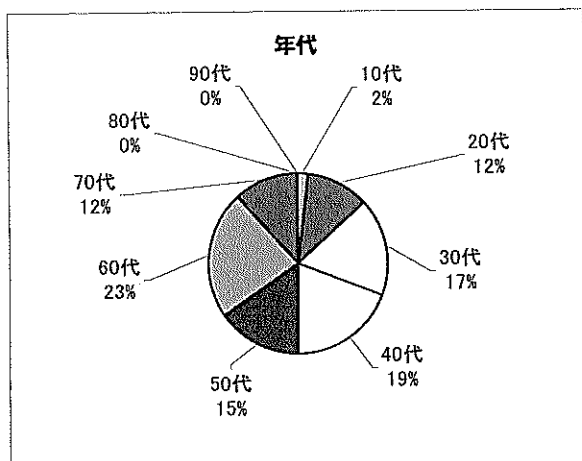


年代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代	
人数	1名		6名		9名		10名		8名		12名		6名	
割合	1.9%		11.5%		17.3%		19.2%		15.4%		23.1%		11.5%	
男性・女性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	1名	0名	3名	3名	4名	5名	5名	5名	4名	4名	8名	4名	4名	2名
割合	2%	0%	6%	6%	8%	10%	10%	10%	8%	8%	15%	8%	8%	4%

80代		90代		平均
0名		0名		49.3歳
0.0%		0.0%		最高齢
男	女	男	女	71歳
0名	0名	0名	0名	最年少
0%	0%	0%	0%	19歳

住所別	井の頭	井口	下連雀	上連雀	新川	深大寺	大沢
人数	2名	5名	7名	14名	4名	0名	3名
割合	3.8%	9.6%	13.5%	26.9%	7.7%	0.0%	5.8%

中原	北野	牟礼	野崎	合計
4名	2名	8名	3名	52名
7.7%	3.8%	15.4%	5.8%	100.0%



三鷹市の市民参加と協働のあゆみ

年	1950年代	1970年代	1980年代	1991年～1995年
計画	昭和30年代より、全国に先駆け計画行政を推進 (1950年頃)	昭和三十二年(1957年)に「まちづくり市民の会」を発足(75人)(基本構想策定のため)(57人)(基本計画策定)	昭和30年代より、全国に先駆け計画行政を推進 (1950年頃)	昭和30年代より、全国に先駆け計画行政を推進 (1950年頃)
市政の動き	50 市制施行 66～70 第一次三鷹市中期財政計画発表 65 市庁舎完成 67 動く市役所開設(86年廃止) 60 下水道工事着手 66 下水道受益者負担金徴収開始 57 三鷹市社会福祉協議会発足	71 第二次中期計画大綱発表 78 三鷹市基本構想審議会設置 72 基本構想審議会 73 下水道普及率100%達成(全国初) 74 社会教育会館開館 75 コミュニティ提案に着手 76 三鷹市老人憲章可決 77 コミュニティ課新設 78 基本構想審議会 79 下水道普及率100%達成(全国初) 80 社会教育会館開館 81 市民憲章制定 82 三鷹市基本構想審議会設置 83 三鷹市基本構想審議会設置 84 三鷹市基本構想審議会設置 85 三鷹市基本構想審議会設置 86 三鷹市基本構想審議会設置 87 三鷹市基本構想審議会設置 88 三鷹市基本構想審議会設置 89 三鷹市基本構想審議会設置 90 三鷹市基本構想審議会設置	80 市民憲章制定 84 三鷹市基本構想審議会設置 85 三鷹市基本構想審議会設置 86 三鷹市基本構想審議会設置 87 三鷹市基本構想審議会設置 88 三鷹市基本構想審議会設置 89 三鷹市基本構想審議会設置 90 三鷹市基本構想審議会設置 91 三鷹市基本構想審議会設置 92 三鷹市基本構想審議会設置 93 三鷹市基本構想審議会設置 94 三鷹市基本構想審議会設置 95 三鷹市基本構想審議会設置	90 三鷹市基本構想審議会設置 91 三鷹市基本構想審議会設置 92 三鷹市基本構想審議会設置 93 三鷹市基本構想審議会設置 94 三鷹市基本構想審議会設置 95 三鷹市基本構想審議会設置 96 三鷹市基本構想審議会設置 97 三鷹市基本構想審議会設置 98 三鷹市基本構想審議会設置 99 三鷹市基本構想審議会設置
市民参加と協働	59 伊勢湾台風 64 東京オリンピック 67 中央線特別快速運行開始	69 日本ルーテル神学大学 78 大沢に移転 80 三鷹商工会館開館 81 野川公園開園	79 大沢住民協議会発足 80 大沢住民協議会発足 81 大沢住民協議会発足 82 大沢住民協議会発足 83 大沢住民協議会発足 84 大沢住民協議会発足 85 大沢住民協議会発足 86 大沢住民協議会発足 87 大沢住民協議会発足 88 大沢住民協議会発足 89 大沢住民協議会発足 90 大沢住民協議会発足 91 大沢住民協議会発足 92 大沢住民協議会発足 93 大沢住民協議会発足 94 大沢住民協議会発足 95 大沢住民協議会発足	92 三鷹市基本構想審議会設置 93 三鷹市基本構想審議会設置 94 三鷹市基本構想審議会設置 95 三鷹市基本構想審議会設置 96 三鷹市基本構想審議会設置 97 三鷹市基本構想審議会設置 98 三鷹市基本構想審議会設置 99 三鷹市基本構想審議会設置
市民団体の活動(各団体の自己申告による)	53 国際基督教大学開学 59 伊勢湾台風	69 日本ルーテル神学大学 78 大沢に移転 80 三鷹商工会館開館 81 野川公園開園	79 大沢住民協議会発足 80 大沢住民協議会発足 81 大沢住民協議会発足 82 大沢住民協議会発足 83 大沢住民協議会発足 84 大沢住民協議会発足 85 大沢住民協議会発足 86 大沢住民協議会発足 87 大沢住民協議会発足 88 大沢住民協議会発足 89 大沢住民協議会発足 90 大沢住民協議会発足 91 大沢住民協議会発足 92 大沢住民協議会発足 93 大沢住民協議会発足 94 大沢住民協議会発足 95 大沢住民協議会発足	92 三鷹市基本構想審議会設置 93 三鷹市基本構想審議会設置 94 三鷹市基本構想審議会設置 95 三鷹市基本構想審議会設置 96 三鷹市基本構想審議会設置 97 三鷹市基本構想審議会設置 98 三鷹市基本構想審議会設置 99 三鷹市基本構想審議会設置
市内の出来事	53 国際基督教大学開学 59 伊勢湾台風	69 日本ルーテル神学大学 78 大沢に移転 80 三鷹商工会館開館 81 野川公園開園	79 大沢住民協議会発足 80 大沢住民協議会発足 81 大沢住民協議会発足 82 大沢住民協議会発足 83 大沢住民協議会発足 84 大沢住民協議会発足 85 大沢住民協議会発足 86 大沢住民協議会発足 87 大沢住民協議会発足 88 大沢住民協議会発足 89 大沢住民協議会発足 90 大沢住民協議会発足 91 大沢住民協議会発足 92 大沢住民協議会発足 93 大沢住民協議会発足 94 大沢住民協議会発足 95 大沢住民協議会発足	92 三鷹市基本構想審議会設置 93 三鷹市基本構想審議会設置 94 三鷹市基本構想審議会設置 95 三鷹市基本構想審議会設置 96 三鷹市基本構想審議会設置 97 三鷹市基本構想審議会設置 98 三鷹市基本構想審議会設置 99 三鷹市基本構想審議会設置
国内外の出来事	59 伊勢湾台風 64 東京オリンピック 67 中央線特別快速運行開始	69 日本ルーテル神学大学 78 大沢に移転 80 三鷹商工会館開館 81 野川公園開園	79 大沢住民協議会発足 80 大沢住民協議会発足 81 大沢住民協議会発足 82 大沢住民協議会発足 83 大沢住民協議会発足 84 大沢住民協議会発足 85 大沢住民協議会発足 86 大沢住民協議会発足 87 大沢住民協議会発足 88 大沢住民協議会発足 89 大沢住民協議会発足 90 大沢住民協議会発足 91 大沢住民協議会発足 92 大沢住民協議会発足 93 大沢住民協議会発足 94 大沢住民協議会発足 95 大沢住民協議会発足	92 三鷹市基本構想審議会設置 93 三鷹市基本構想審議会設置 94 三鷹市基本構想審議会設置 95 三鷹市基本構想審議会設置 96 三鷹市基本構想審議会設置 97 三鷹市基本構想審議会設置 98 三鷹市基本構想審議会設置 99 三鷹市基本構想審議会設置

三鷹市の市民参加と協働のあゆみ

<p>1996年～1998年</p> <p>1999年</p> <p>2000年</p>	<p>三鷹市第2次基本計画改定</p> <p>5月 みたか国際化円卓会議発足</p> <p>市長</p> <p>98/12 「日本経営品質賞」へ取り組み</p> <p>98/10～00/3 98/10～00/2 98/10～00/3 98/10～00/2 98/12 98/12</p> <p>96 武蔵野三鷹ケーブルテレビ「みるみる三鷹」放送開始 (市の広報番組)</p> <p>97 福祉オンブズスマン スタート</p> <p>98 SOHO CITYみたかが推進協議会発足 SOHOハイロケットオフィスオープン</p> <p>98/12 市長へ提言</p> <p>98/10～00/3 市長参加用子ータ作成チーム活動</p> <p>98/10～00/2 市民参加用子ータ作成チーム活動</p> <p>98/12 市長へ提言</p> <p>98/12 まちづくり研究所</p> <p>98/12 まちづくり研究</p> <p>98/12 「新しい市民参加のあり方」市長へ提言</p>	<p>三鷹市第2次基本計画改定</p> <p>2月～01年3月 21世紀構想「討議要綱」作成チーム活動 12月 「討議要綱」チーム報告書</p> <p>3月 三鷹を考える職員アイデア集発行</p> <p>11月 三鷹を考える論点データ集発行</p> <p>2月 三鷹を考える基礎用語事典発行</p> <p>10月 パートナーシップ協定を結んで発足 提言書「みたか市民プラン21」市長に提出</p> <p>7月 白紙からの市民参加</p> <p>7月 全員公募の個人メンバー(375名) 中間報告を市長に提出</p> <p>11月 全て市民による自主運営</p> <p>2月～3月 市の討議要綱チームと懇談会</p> <p>2月～3月 論点データ集学習会(市職員が講師)</p> <p>2月～3月 (メンバー以外の市民も参加)</p> <p>12月～01年3月 (メンバー以外の市民も参加)</p> <p>3月 分科会主催学習会(24回)</p> <p>3月 市民への活動内容報告 (シンポジウムとパネル展示)</p> <p>5月 市民への説明 (パネル展示)</p> <p>8月 広報紙第1号発行 広報紙第2号発行</p> <p>3月 (外部への広報) 中間報告について報告</p> <p>8月 活動内容報告 あわせてアンケート調査</p> <p>11月 ホームページ開設 広報紙第3号発行</p> <p>11月 提言の概要報告</p> <p>10月 事務局より創刊号発行(内部の広報)</p> <p>4月 丸池公園開園</p> <p>10月 丸池の里わくわく村発足 (市民による運営)</p> <p>7月 NPO法人「むさしのみたか市民テレビ局」開局</p>	<p>96 長期計画案検討市民会議 基本計画(改定)案案に対する意見書提出</p> <p>97 土地利用総合計画(案) まちづくり懇談会開催</p> <p>97 野崎西まちづくり協議会発足</p> <p>96 ワークショップ方式の市民参加</p> <p>96年から井の頭手のひら公園ワークショップ</p> <p>97年から「丸池復活プラン」ワークショップ</p> <p>市民延べ1,000人参加</p> <p>98年から高山小学校ワークショップ</p> <p>97/1 現在に至る</p> <p>97/1 みたか市民交流会第1回新春市民交流会</p> <p>98/10 三鷹SOHO倶楽部設立</p> <p>98 茶寮家水専都文化財指定</p> <p>98 特定非営利活動推進法制定(NPO法)</p>
--	---	--	---

年	2001年	2002年	2003年	2004年
計画	三鷹市第3次基本計画			
市政の動き	<p>1月 基本構想討議要綱確定 基本構想上程 基本構想議決</p> <p>9月 基本構想全文広報掲載</p> <p>11月 基本計画確定</p> <p>10月 基本構想全文広報掲載</p> <p>12月 基本計画について広報掲載</p> <p>2月～3月 基本構想電子市民会議室開設</p> <p>6月～8月 基本計画電子市民会議室開設</p>	<p>7月 三鷹市自治体経営白書発行 (自治体初の白書)</p> <p>～効果的で開かれた自治体、121世紀型自治体を目指して～</p> <p>2月 基本計画 広報特集号</p> <p>4月 第1分科会検討開始</p> <p>11月 第1分科会第1次提言</p> <p>6月 第1分科会第2次提言</p> <p>～市民協働センターのあり方について～ (運営方法と機能)</p> <p>三鷹市まちづくり研究所</p> <p>旧東京都政企画課継受</p>	<p>6月 三鷹市自治体経営白書発行</p> <p>～「創造的な自治体経営」を目指して～</p> <p>7月 三鷹市基本条例要綱案公表</p> <p>7月 同上まちづくり懇談会開催</p> <p>第3次基本計画改定に向けて</p> <p>6月 第3次基本計画改定に関する基本的方向 (改定に向けた討議資料)公表</p> <p>3月 三鷹を考える論点データ集2004発行</p> <p>三鷹を考える基礎用語集発行</p> <p>4月～5月 論点データ集学習会</p> <p>7月～12月 三鷹市eフォーラム eシンポジウム</p>	<p>1月 三鷹市民協働センター</p> <p>1月 三鷹市民協働センター</p> <p>12月 開館</p> <p>12月 第1回協働のまちづくりセミナー</p> <p>1月 第2回協働のまちづくりセミナー</p> <p>2月 第3回協働のまちづくりセミナー</p> <p>2月～5月 運営準備委員会設置</p> <p>7月 企画運営委員会設置</p> <p>8月 48団体</p> <p>12月 利用登録団体</p> <p>5月 丸池公園第2期整備プラン ワークショップ提言</p> <p>6月 Human Loop・人の輪設立</p>
市民参加と協働	<p>11月 パートナーシップ協定終了</p> <p>11月 市民21会議終了</p> <p>市よりの基本構想・第3次基本計画と市民21会議よりの活動報告書を交換</p> <p>(11回) 2月～8月(7ヶ月)のキャッチボール</p> <p>基本構想・基本計画の説明と市民の意見提出 (「市民協働センター」を提案)</p> <p>(説明と展示) 1月 提言事項パネル 展示</p> <p>上記の「市民協働センター」は、経営中の「市民参加フォーラム」等を受けて基本計画策定に際して「NPO等市民活動支援センター(仮称)」に代り「協働」や「交流」の機能が重視される必要があるとして、意見書の中で修正提案されたものである。</p> <p>その後、第3次基本計画に「市民協働センター(仮称)」として規定された。</p> <p>外部よりの提案・取付:70件 外前への講演:40件余り(解放後も続く依頼)</p> <p>12月 事務局だより33号(最終号)発行</p>	<p>「市民21会議」を線として、有志が自主グループで活動(複数)</p> <p>三鷹市民協働センター</p> <p>1月 三鷹市民協働センター</p> <p>12月 開館</p> <p>12月 第1回協働のまちづくりセミナー</p> <p>1月 第2回協働のまちづくりセミナー</p> <p>2月 第3回協働のまちづくりセミナー</p> <p>2月～5月 運営準備委員会設置</p> <p>7月 企画運営委員会設置</p> <p>8月 48団体</p> <p>12月 利用登録団体</p>	<p>12月 開館</p> <p>12月 第1回協働のまちづくりセミナー</p> <p>1月 第2回協働のまちづくりセミナー</p> <p>2月 第3回協働のまちづくりセミナー</p> <p>2月～5月 運営準備委員会設置</p> <p>7月 企画運営委員会設置</p> <p>8月 48団体</p> <p>12月 利用登録団体</p>	<p>5月 丸池公園第2期整備プラン ワークショップ提言</p> <p>6月 Human Loop・人の輪設立</p>
市民団体の活動(各団体の自己申告による)			<p>9月 ファーストステップみたか準備会発足</p> <p>6月 まちの風・三鷹まちづくり21活動スタート</p> <p>→*2 みんなんでKids陶芸スタート</p>	
市内の出来事				
国内外の出来事				<p>8月 アテネオリンピック (三鷹在住選手たち大活躍)</p>

年		2005年		2006	
計画		三鷹市第3次基本計画改定			
市政の動き	9月 第3次三鷹市基本計画(改定)骨格案公表	10月 同上出前説明	1月 第3次基本計画(改定)素案公表	4月 第3次基本計画改定	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
	9月 第3次三鷹市基本計画(改定)骨格案公表	10月 同上出前説明	1月 インテリジェントコミュニティ2005年トップセブン(WTA・世界テレポート連合)他の6市とともに三鷹市が受賞	3月 生涯学習プラン2010素案公表	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
市民参加と協働	9月～ 安全安心・市民協働パートナー	10月～11月 まちづくり懇談会、出前説明会 10月～12月 同左	1月 インテリジェントコミュニティ2005年トップセブン	4月 三鷹市立小・中一貫教育に関する基本方針(案)公表	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
	9月 ニューズレター創刊	10月 51団体 62団体 76団体	1月 開館1周年記念事業(シンポジウムと展示会)	2月 PRのコツ	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
市民団体の活動(各団体の自己申告による)	10月 新潟県中越地震	10月 農楽公園グランドオープン	1月 インテリジェントコミュニティ2005年トップセブン	4月 三鷹市立小・中一貫教育に関する基本方針(案)公表	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
	10月 新潟県中越地震	10月 農楽公園グランドオープン	1月 インテリジェントコミュニティ2005年トップセブン	4月 三鷹市立小・中一貫教育に関する基本方針(案)公表	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
国内外の出来事	10月 新潟県中越地震	10月 農楽公園グランドオープン	1月 インテリジェントコミュニティ2005年トップセブン	4月 三鷹市立小・中一貫教育に関する基本方針(案)公表	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
国内外の出来事	10月 新潟県中越地震	10月 農楽公園グランドオープン	1月 インテリジェントコミュニティ2005年トップセブン	4月 三鷹市立小・中一貫教育に関する基本方針(案)公表	7月 三鷹市自治体経営白書発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～

年	2006
計画	第3次基本計画改定
7月	三鷹市自治体経営白書2006発行 ～「創造的な自治体経営」を目指して～
7月	「みたか・子供どもと絵本プロジェクト推進計画」確定
8月	「みたかまちづくりディスカッション2006 「子どもたちの安全安心」 主催：三鷹青年会議所・三鷹市 (行政初の取り組み)
8月	109団体
市民参加と協働	
市民団体の活動 (各団体の 自己申告 による)	
市内の 出来事	
国内外 の出来事	

この間の三鷹市に対する第3者評価
日本経営品質賞(社会経済生産性本部)
Aクラス(自治体で唯一、他はBクラス2団体)

行政革新度・行政サービス度
(日本経済新聞社、日経産業消費研究所調査)

回	年度	革新度	サービス度
1	1998	1位 三鷹市 2位 松本市 3位 川崎市	1位 千代田区 2位 中央区 3位 立川市、府中市 5位 武蔵野市 6位 三鷹市、羽村市他2市
2	2000	1位 上越市 2位 武蔵野市 3位 三鷹市	1位 千代田区 2位 立川市、羽村市 3位 三鷹市
3	2002	1位 三鷹市 2位 岡山市 3位 板橋区	1位 武蔵野市 2位 三鷹市 3位 羽村市
4	2004	1位 三鷹市 2位 環子市 3位 近江八幡市	1位 武蔵野市 2位 三鷹市 3位 所沢市
5	2006	1位 三鷹市 2位 板橋区 3位 杉並区	1位 千代田区 2位 三鷹市 3位 浦安市

e都市ランキング(日経BP社「日経バノコン」)
革新度：効率的で開かれた自治体

回	年度	順位	市
1	2002	1位	三鷹市
2	2003	1位	三鷹市
3	2004	1位	三鷹市
4	2005	1位	三鷹市
5	2006	1位	三鷹市

インテリジェントコミュニティ・オブ・ザ・イヤー2005

TOP 7	TOP 1
三鷹市 インテリジェント・モリノー(フランス) ピライ(ブラジル) シンガポール サンダーランド(英国) 天津(中国) トロント(カナダ)	三鷹市

出典(年表および第3者評価)
三鷹が創る「自治体新時代」
清原麗子著、三鷹市監修

全国住民サービス番付等
日本経済新聞社99年3月、01年3月、03年2月、05年3月発行
日本経済新聞

三鷹市の調査料
元みたか市民プラン21会議資料
広報みたか
市民協働センターニューズレター

年表の1980年代「市民団体の活動」の補足

- 1980年代に発足の市民団体
- 1980 三鷹市医療と福祉をすすめる会発足
第1回「みたか市民フェスティバル開催」
「みちことオーサ」上映会
- 1985 第1回福祉の街づくり市民のつどい開催
三鷹ボランティアグループ交流会発足
武蔵野三鷹生活労働者相談センター(むるっく相談室)発足
- 1986 ふろしき市始まる
- 1987 第4回憲法反核平和について語り合う車の根運動交流集会、三鷹で開催
- 1988 みたか共同作業所(むろぶ魯)発足
- 1989 みたかカレンダー創刊
みたかボランティア連絡協議会発足

TOP1(世界一)受賞理由
今回の受賞は、三鷹という地域が市民や研究機関、企業、行政の協働により活性化していることが評価されたものである。
SOHO CITY みたか構想から生まれたSOHOやNPOとの協働
コミュニティ行政や三鷹市の基本計画策定時の全員公募の市民による「みたか市民プラン21会議」での協働
「みたかまち・三鷹推進協議会」や「三鷹ネットワーク大学」での市民、大学・研究機関、企業との「民学産公」の協働など、多くの「協働」とその成果が評価につながったとIPFは発表している。
(IPF: Intelligent Community Forum=WTA 世界レポート選考の内部組織)
(三鷹市プレスリリースよりの抜粋)

- 作成(2005年1月12日)
- 三鷹市民協働センター 1周年記念事業実行委員会 展示担当
および市民協働センター事務局
- 追加(2005年12月14日、2006年1月11日)
- 2005年部分を「広報みたか」、市民協働センター「ニューズレター」などより追加
- 追加(2006年8月13日)
- 2006年部分を「広報みたか」、協働センター「ニューズレター」より追加(2006年10月30日)
- 日経新聞 第5回行政革新度・サービス調査